まちづくりの基本目標

～　人と自然が共生する安全なまち　～

市民と市民、市民と市の連携を深めながら、地域の中で日常生活を安全に送られる環境づくりと、人と自然が共生できる環境づくりを推進し、誰もが住みたくなるまちを目指します。

【基本構想】より

阿賀野市市章

阿賀野市消防本部
（エンブレム）

阿賀野市の「ア」で阿賀野川に抱かれた緑豊かな阿賀野市の明るく元気な姿をデザイン。
「21世紀に躍進するオアシス都市　阿賀野」が力強く飛躍し、発展する勇姿を象徴。

最上部に市章。中央に消防部局の使命である市民の生命、身体、財産を守る消防・救助・救急の文字を配し、消防のイメージカラーであるオレンジで囲むことで消防署員のチームワークを表現。

目　　次

〔総　務〕
1.　阿賀野市の概要と沿革…… 1
2.　阿賀野市消防本部のあゆみ…… 3
3.　阿賀野市消防本部管轄区域図……12
4.　阿賀野市構造……13
5.　消防庁舎現況……14
6.　消防機構……15
7.　消防予算歳出内訳……16
8.　消防費と人口・世帯の割合……18
9.　消防吏員及びポンプ車の単位当りの面積・人口・世帯数…18
10.　消防吏員数
（1）階級別……19
（2）勤続年数別……19
（3）年齢別……19
11.　消防吏員特殊技能資格取得状況……20

〔防　災〕
12.　消防通信系統図……22
13.　消防緊急通信指令施設構成……23
14.　無線局の配備状況……24
15.　消防車両一覧……26
16.　特殊機器等保有状況……27
17.　消防水利の状況……29
18.　火災統計
（1）出火件数……30
（2）原因別出火状況……30
（3）月別出火状況……30
（4）曜日別出火状況……31
（5）時間帯別出火状況……31
（6）気象別出火状況……32
（7）平成29年火災記録明細表……34
（8）月別火災発生状況……35
（9）平成29年地区別火災記録明細表……37
（10）火災状況（5年間）……38
（11）月別火災件数（5年間）……39
〔予　防〕
19.　危険物
（1）製造所等の施設状況……40
（2）製造所等の年度別施設状況……40
（3）製造所等の許可・完成検査・廃止等の状況……41
（4）類別・製造所等の状況……41

（5） 数量別・製造所等の状況……42
（6） 危険物施設立入検査の状況……42
20． 防火対象物
（1） 150㎡以上の防火対象物の状況（棟別） ……43
（2） 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況…46
（3） 防火対象物立入検査の状況……49
（4） 消防用設備等着工届受理状況……51
（5） 消防用設備等設置届受理状況……51
（6） 火災予防条例施行規則に基づく届出状況……52
21． 建築確認申請同意処理状況
（1） 用途別同意件数……53
（2） 構造別同意件数……55
（3） 工事別同意件数……56

〔救急・救助〕
22． 救急統計
（1） 出場件数、搬送人員状況（5年間） ……57
（2） 主な事故種別割合（5年間） ……57
（3） 傷病者の住所別搬送状況……57
（4） 平成29年救急出場状況……58
（5） 月別出場状況……59
（6） 傷病程度別搬送人員……59
（7） 覚知時刻別出場件数……60
（8） 事故種別・年齢区分別搬送人員……60
（9） 現場到着所要時間別出場件数……61
（10） 収容所要時間別搬送人員……61
（11） 急病、発生場所別搬送人員……62
（12） 一般負傷、発生場所別搬送人員……62
（13） 応急処置等の状況……63
（14） 磐越自動車道における救急出動状況……63
（15） ＣＰＡ症例の状況……64
（16） 応急手当普及活動状況……65
23． 収容状況
（1） 収容状況……66
（2） 事故種別転送回数搬送人員……67
（3） 急病に係る疾病分類と搬送人員……67
24． 救助統計
（1） 救助活動状況……68

〔消防団〕
25． 消防団員数・年報酬等調べ
（1） 年報酬……69
（2） 諸手当……69

（3） 消防団員数……69
（4） 年齢別消防団員数……69
（5） 在職年数別消防団員数……70
26． 消防団機械器具……70

〔気　象〕
27． 平成29年気象状況
（1） 月別天候(9時現在)（3年間）……71
（2） 平成29年の天候割合(9時現在）……71
（3） 月別平均温度(3年間）……72
（4） 平成29年月別最高・最低気温……72
（5） 月別平均相対湿度（3年間）……73
（6） 月別平均実効湿度（3年間）……73
（7） 月別最低実効湿度（3年間）……74
（8） 月別平均風向……75
（9） 月別風速……75
（10） 月別降雨量（3年間）……76
（11） 年別総降雨量（3年間）……76
（12） 年別1日最高降雨量（3年間）……77
（13） 最多積雪（3年間）……78
28． 安田地区気象状況
（1） 年間気温・湿度……79
（2） 火災警報発令件数及び延べ日数……79
（3） 風向（9時から翌日9時までの
24時間中の主たる風向）……79
（4） 風速……80
（5） 降雨量……80
（6） 最高・最低気温……81
（7） 相対・実効湿度……81

〔付　録〕幼少年女性防火クラブ
1. 幼年消防クラブ結成状況
2. 女性防火クラブ結成状況

総務

平成 29 年度全国統一防火標語

火の用心　ことばを形に　習慣に

阿賀野市消防本部庁舎

かがやき分署庁舎

1. 阿賀野市の概要と沿革

阿賀野市は、新潟平野のほぼ中央に位置し、南側に大河阿賀野川が流れ、東側に標高1,000メートル級の山々が連なる五頭連峰を背にして形成された扇状地に6,500ヘクタール余りの水田が広がる穀倉地帯です。

県都新潟市から南東へ約20キロメートル、東は新発田市、阿賀町、西は新潟市、南は五泉市、阿賀町、北は新潟市、新発田市にそれぞれ接しています。磐越自動車道と国道49号が南北に、国道460号と290号、JR羽越本線が東西に走り、県都に隣接する自然環境豊かな地域です。

阿賀野市は、東西約18.5キロメートル、南北約15.3キロメートルで、192.7平方キロメートルの面積を有しています。地目別に見ると、農地が73.2平方キロメートル、宅地が12.1平方キロメートル、山林64.8平方キロメートルとなっています。

阿賀野市の気候は、日本海気候に属していますが、冬期間でも近年の暖冬傾向により、小雪となっています。春から夏にかけて、阿賀野川の水面を渡るように、時折強い南東(ダシ)の風がこの地域を吹き抜けます。

自然山水はすべて五頭山脈に源流を発し、東から西又は北西に向かって流れていてその主なるものは、北から折居川、大荒川、安野川、都辺田川があります。ほかに人工用水路として、小松地先阿賀野川から取水し山裾を北上して新潟東工業港へと延びる阿賀右岸大規模用水の幹線及び支線、水路が管内殆どの農地を潤すとともに、農閑期でも大切な消防水利となっています。

道路網は、磐越自動車道が南部を横断し、市内唯一の安田インターチェンジがあります。国道49号が中心部を貫いて、新発田・新潟を結ぶ国道460号と交差しており、更に国道290号が山沿いを走り五泉市へと延びています。　県道は、市街地から放射線状に、水原・出湯線、大室・水原線、新関・水原停車場線、新潟・長浦線等があります。

平成6年7月28日、磐越自動車道、安田インター・新潟中央インター間が、平成8年11月14日安田インター・津川インター間の供用開始、平成9年10月1日全線開通により新潟市はじめ県内外からの交通アクセスがより良くなりました。

JR羽越線新津・新発田間が平野部を南西から北東に走り、「きょうがせ」、「す

いばら」、「かみやま」の3駅があります。

阿賀野市は、有史以来交通、経済、文化、軍事の要衝となり、徳川時代には幕府直轄の奉行所や代官所が置かれ、廃藩置県前後の明治2年には越後府が置かれ水原県となり、やがて新潟県と変遷したことから新潟県政発祥の地であるという自負もあり、平成7年8月には水原代官所を復元しました。

市内の安田地区、笹神地区、京ヶ瀬地区は支配系統の異なる新発田領でしたが、日常生活、経済活動に最も密接な水原地区の市場を中心に共同生活圏が生成され一体感が培われ今日に至っています。

これらを背景として昭和41年4月旧町村及び消防機関の協議会の総会において広域消防早期実現の決議がなされ、この方針に則り、県の助言指導を受けながら事務担当者から消防機関、町村執行部、議会へと段階的に広く研究協議を重ね、紆余曲折の末、昭和45年10月1日から救急業務を旧水原町に委託する方法により開始し、昭和48年4月1日一部事務組合が発足し、常備消防だけではありますが一体化が実現しました。

その後昭和54年4月1日、阿賀北広域組合水原郷消防本部が発足。

平成16年4月1日、水原町・安田町・笹神村・京ヶ瀬村が町村合併し、阿賀野市が誕生、阿賀野市消防本部となり、平成26年に10周年を迎え、消防力強化のため旧各町村にあった分遣所を統廃合し、新たに安田地区の新潟県東部産業団地内にかがやき分署を開庁、1本部2署体制になり、現在に至ります。

2. 阿賀野市消防本部のあゆみ

昭和48．4．1　水原郷消防組合発足、構成町村 水原町、安田町、笹神村京ヶ瀬村、組合管理者に水原町長佐藤貞太郎就任（消防長事務取扱）水原郷消防職員として水原町退職者23名、安田町退職者6名、笹神村退職者3名を採用。新採用20名を含め常勤職員総員52名となる。

旧水原町消防庁舎を利用し消防本部・署を設置、消防自動車2台、救急車1台、指令車1台、署員33名、旧安田町消防本部を利用し安田分遣所を設置、消防車1台・救急車1台署員7名、旧笹神村消防団本部を利用し笹神分遣所を設置、消防車1台、署員6名、旧京ヶ瀬村農業共済組合事務所を利用し京ヶ瀬分遣所を設置、消防車1台、署員6名。以上の体制で発足した。

昭和48．4．1　阿賀野川総合運動場を阿賀野川総合運動場協議会から当消防組合が引き継ぐ。

昭和48．7．1　本署27名、安田分遣所9名、笹神分遣所8名、京ヶ瀬分遣所8名の体制となる。

昭和48．9.　軽連絡車1台購入本署に配置

昭和48.11.　2,000リットル入りタンク車1台購入、本署に配置

昭和48.12.20　管理者水原町長佐藤貞太郎退職

昭和49．2．7　笹神村長折笠信雄管理者（消防長事務取扱）に就任

昭和49．3.　指令車更新本署に配置

昭和49．3.31　職員1名退職、実員51名となる。

昭和49．4．1　職員新採用8名、実員59名となる。

昭和49．4.　笹神分遣所新庁舎鉄筋コンクリート造が落成し移転

昭和49．6.　軽連絡車1台購入安田分遣所に配置

昭和49．7．1　本署31名、安田分遣所10名、笹神分遣所9名、京ヶ瀬分

遣所9名の体制となる。

昭和49. 9. 8　第25回県消防大会ポンプ操法競技大会ポンプ車の部で、第3位入賞（会場佐渡小木町）

昭和49.10.　笹神分遣所消防車更新

昭和49.11.21　本署消防車1台水原町消防団に返納

昭和50. 4. 1　職員新採用1名、実員60名となる。

昭和50. 4.　阿賀野川総合運動場連絡車1台購入本署に配置

昭和50. 4.　軽連絡車1台購入笹神分遣所に配置

昭和51. 4.　軽連絡車1台購入京ヶ瀬分遣所に配置

昭和51. 7.　機材積載車1台購入本署に配置

昭和51.10. 8　日本損害保険協会から消防車（BD-Ⅰ型）1台寄贈を受け本署に配置

昭和52. 3.31　職員1名退職、実員59名となる。

昭和52. 4. 1　職員新採用1名、実員60名となる。

昭和53. 3.31　職員1名退職により本署29名、安田分遣所10名、笹神分遣所10名、京ヶ瀬分遣所10名体制の実員59名となる。

昭和53. 4. 1　新発田広域消防と消防相互応援協定締結

昭和53. 5.12　安田局119番を本部へ移転。指令卓への組込は、6月5日

昭和53. 7.23　二市北蒲原地区支会ポンプ操法競技会、署ポンプ自動車の部で優勝（会場 豊栄市）

昭和53. 8.20　第29回県消防大会操法競技大会署ポンプ自動車の部で優勝（会場 六日町）

昭和54. 3.31　水原郷消防組合解散

昭和54. 4. 1　阿賀北広域組合発足

組合構成団体に豊栄市も含まれることとなったが、消防に関しては従来通り。

組合管理者に水原町長吉川正夫就任、消防長に小林正巳が就任した。

消防施設、消防体制は旧水原郷消防組合より継承

昭和54.11.13　村松瓦斯水道株式会社から広報車1台の寄贈を受け本署に配置

昭和55. 2. 5　日本自動車工業会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け本署に配置

旧救急車（A級）は予備車として運用

昭和55. 4. 1　職員新採用2名、本署31名、安田分遣所10名、笹神分遣所10名、京ヶ瀬分遣所10名、実員61名となる。

昭和55. 4. 1　水原郷消防署救助隊発足

昭和55. 7.20　二市北蒲原地区支会ポンプ操法競技大会署ポンプ自動車の部で優勝（会場 水原町）

昭和55.10.24　副管理者笹神村長折笠信雄任期満了退任

昭和55.10.25　笹神村長五十嵐利彦副管理者に就任

昭和56. 1. 1　職員１名死亡退職、実員60名となる。

昭和56. 3. 1　救急医療情報システム端末機設置により運用開始（県委託）

昭和56. 3.31　職員１名退職、実員59名となる。

昭和56. 4. 1　職員新採用2名、実員61名となる。

昭和56. 7.24　第10回消防救助技術東北指導会初出場（会場 仙台市）

昭和56.11.30　防衛施設庁補助事業により消防ポンプ自動車（BD-Ⅰ型）1台購入本署に配置

昭和57. 3.31　消防庁舎建設用地取得、造成工事完了（6,049㎡）

昭和57. 6. 9　副管理者京ヶ瀬村長小林健司任期満了退任

昭和57. 6.10　京ケ瀬村長米山俊彦副管理者に就任

昭和57.11.22　消防庁、消防施設補助事業により消防ポンプ自動車（BD-Ⅱ型)1台購入安田分遣所に配置

昭和58. 3.　新消防庁舎竣工

昭和58. 4.15　新庁舎に移転、業務開始

昭和58. 7.12　新消防庁舎竣工式

昭和58. 8.　消防庁舎舗装工事竣工

昭和58. 9. 1　豊栄市と消防相互応援協定締結

昭和58.12.　消防庁舎消雪パイプ施設工事竣工

昭和59. 7. 5　屋外訓練場張芝工事竣工

昭和60. 5.　幼年消防クラブ、15クラブ発足

昭和60. 8.28　職員1名退職、実員60名となる。

昭和60.10.30　消防庁消防施設補助事業により消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台購入、京ケ瀬分遣所に配置

昭和61. 4. 1　職員新採用1名、実員61名となる。

昭和61. 5.　幼年消防クラブ、7クラブ結成し22クラブとなる。

昭和61. 8.25　日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(BD-Ⅰ型)1台寄贈を受け本署に配置

昭和62. 3.31　職員１名退職、実員60名となる。

昭和62. 4. 1　職員新採用1名、実員61名となる。

昭和62. 5.　幼年消防クラブ、1クラブ結成し23クラブとなり、管内の結成率100％となる。

昭和62. 8.25　ＮＴＴ衛星通信119番設置

昭和63. 6.30　職員1名退職、実員60名となる。

昭和63. 8.　日本消防協会から救急車（2B型）1台寄贈を受け本署に配置。旧救急車は予備車として運用

平成元. 3.31　職員2名退職、実員58名となる。

平成元. 4. 1　職員新採用4名、実員62名となる。

平成元. 5. 1　職員新採用1名、実員63名となる。

平成 2. 1. 1　水原郷幼少年婦人防火委員会結成

平成 2. 2.23　防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）1台購入本署に配置

平成 2. 3.31　職員2名退職、実員61名となる。

平成 2. 4. 1　　職員新採用2名、転出1名、実員62名となる。

平成 2. 7. 1　　安田分遣所配置の日本赤十字社救急車（2B型)更新

平成 2. 8. 1　　指令車更新

平成 2. 9. 1　　新潟県・水原郷総合防災訓練を当管内において実施

平成 3. 3.31　　職員1名退職、実員61名となる。

平成 3. 4. 1　　職員新採用4名、実員65名となる。

平成 4. 3.31　　職員1名退職、実員64名となる。

平成 4. 4. 1　　定員72名、職員新採用4名、実員68名となる。

平成 5. 4. 1　　定員78名、職員新採用5名、実員73名となる。

平成 5.12.16　　消防庁消防施設補助事業により救助工作車１台購入､本署に配置

平成 5.12.20　　管理者水原町長吉川正夫任期満了退任

平成 5.12.21　　水原町長五十嵐雄介管理者に就任

平成 6. 3.31　　職員2名退職、実員71名となる。

平成 6. 4. 1　　定員78名、職員新採用6名、実員77名となる。安田分遣所19名体制となる。

平成 6. 7. 1　　磐越自動車道供用開始に伴い、安田分遣所に高速救急隊発足

平成 6. 7.19　　磐越自動車道消防相互応援協定、締結

平成 6.12.13　　高速救急隊用救急車（2B型）1台更新、安田分遣所に配置

平成 7. 3.22　　防衛施設庁補助事業により消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台購入、笹神分遣所に配置

平成 7. 3.31　　副管理者笹神村長五十嵐利彦任期満了退任

平成 7. 3.31　　職員4名退職、実員73名となる。

平成 7. 4. 1　　定員78名、職員新採用4名、実員77名となる。
新潟県消防防災ヘリコプター応援協定、締結

平成 7. 4.24　　笹神村長佐藤一宇副管理者に就任

平成 8. 2.　　消防庁消防施設補助事業により、消防緊急通信指令施設

設置

平成 8. 3.　　消防庁及び県消防施設補助事業により高規格救急車（2B型）1台購入、本署に配置

平成 8. 4.　　連絡車１台更新、本部に配置

平成 8.11.11　東蒲原広域消防組合との消防相互応援協定、締結

平成 9. 3.　　消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型、900Ｌ水槽付）1台更新、安田分遣所に配置

平成 9. 3.31　職員2名退職、実員75名となる。

平成 9. 4. 1　定員78名、職員新採用3名、実員78名となる。

平成10. 3.20　職員1名死亡退職、実員77名となる。

平成10. 4. 1　定員78名、職員新採用1名、実員78名となる。

平成10. 8. 3　安田分遣所配置の日本赤十字社救急車(2B型)更新

平成10. 9.25　日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台寄贈を受け本署に配置

平成12. 3.31　職員1名退職、実員77名となる。

平成12. 4. 1　定員78名、職員新採用1名、実員78名となる。

平成12. 5. 2　五泉市消防本部と「ホテルさきはな」における消防業務について覚書締結

平成13. 3. 8　消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台更新、京ヶ瀬分遣所に配置

平成13. 3.31　職員1名退職。実員77名となる。

平成13. 4. 1　京ヶ瀬分遣所、新庁舎移転、業務開始

平成14. 9.28　新潟県消防長会主催、新潟県消防職員駅伝大会を当本部管内を会場に実施。優勝は五泉市消防本部

平成15. 8. 9　職員1名死亡退職、実員76名となる。

平成16. 3.　　防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型）1台更新、本署に配置

平成16. 3.　　財団法人日本消防協会から指令車1台寄贈を受け本部に配

置

平成16. 3.31　職員1名退職、実員75名となる。

平成16. 4. 1　阿賀野市消防本部となり、定員85名、消防職員75名・事務職員3名(消防団事務担当)、計78名体制となる。

平成16.11.30　職員1名退職、実員77名となる。

平成17. 3.　24m級はしご車1台導入、本署に配置

平成17. 3.31　職員1名退職、実員76名となる。

平成17. 4. 1　定員85名、職員新採用4名、実員80名体制となる。

平成17. 8. 4　安田分遣所配置の日本赤十字社救急車（2B型）更新

平成18. 3.31　職員2名退職、実員78名となる。

平成18. 4. 1　定員85名、職員新採用2名、実員80名体制となる。

平成19. 3.31　職員1名退職、実員79名となる。

平成19. 4. 1　定員85名、職員新採用2名、実員81名体制となる。

平成19. 9.10　指令車（指令2号車）･広報車（指令3号車）老朽化のため廃車

平成20. 4. 1　定員85名、職員新採用3名、実員84名体制となる。

平成20. 7.29　職員1名退職、実員83名となる。

平成20.10.28　消防庁消防施設等整備費補助事業・緊急消防援助隊設備整備事業補助により高規格救急車更新・本署に配置

前高規格救急車は、安田分遣所に配置

平成21. 3.10　高規格救急車更新により、旧2B型救急車を朱色全面塗装して広報車(指揮後方支援車)として運用開始

平成21. 3.31　職員1名退職、実員82名となる。

平成21. 4. 1　定員85名、職員新採用3名、実員85名体制となる。

平成21.12.31　職員1名退職、実員84名となる。

平成22. 3.31　職員4名退職、実員80名となる。

平成22. 4. 1　定員85名、職員新採用5名、実員85名体制となる。

平成23. 1.31　職員1名退職、実員84名となる。

平成23. 3. 1　防衛施設庁補助事業により、消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台更新、笹神分遣所に配置

平成23. 3.31　職員6名退職、実員78名となる。

平成23. 4. 1　定員85名、職員新採用5名、実員83名体制となる。

平成23. 4.20　消防救急デジタル無線基本設計(電波伝搬調査等)業務委託

平成23. 8.31　職員1名退職、実員82名となる。

平成23.10.13　消防緊急通信指令装置更新

平成24. 3. 8　消防救急デジタル無線実施設計業務委託

平成24. 3.26　緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、救助工作車（Ⅱ型)1台更新、京ヶ瀬分遣所に配置

平成24. 3.31　職員1名退職、事務職員1名異動、実員80名となる。

平成24. 4. 1　定員85名、職員新採用2名、実員82名体制となる。

平成24. 6.26　消防機能再編事業基本・実施設計業務委託

平成25. 3.31　職員5名退職、実員77名となる。

平成25. 4. 1　定員85名、職員新採用5名、実員82名体制となる。

平成25. 4. 1　消防救急デジタル無線運用開始

平成26. 3.31　職員6名退職、実員76名となる。

平成26. 3.31　署所再編によって、安田分遣所、笹神分遣所及び京ヶ瀬分遣所の3分遣所を廃止

平成26. 4. 1　定員85名、職員新採用6名、実員82名体制となる。

平成26. 4. 1　かがやき分署新庁舎業務開始。1本部1署3分遣所から1本部1署１分署となり消防本部・消防署54名、かがやき分署28名の体制となる。

平成26. 4. 1　高規格救急車1台更新、かがやき分署に配置

平成26.10.10　職員1名退職、実員81名となる。

平成27. 2. 1　消防庁緊急消防援助隊設備整備補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台更新、本署に配置

平成27. 2.　　総務省所管に属する物品の無償貸与事業により、救助資機材搭載型消防ポンプ車1台借受、消防団安田常備分団に配置

平成27. 2.26　防衛省防衛施設周辺民生安定施設整備事業により、高規格救急車1台更新、本署に配置

平成27. 3.31　職員2名退職、実員79名となる。

平成27. 4. 1　定員85名、職員新採用5名、実員84名体制となる。

平成27. 8.31　職員1名退職、実員83名となる。

平成28. 3.31　職員4名退職、実員79名となる。

平成28. 4. 1　定員85名、職員新採用5名、実員84名体制となる。

平成29. 2. 8　消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台更新、分署に配置

平成29. 3.31　職員1名退職、実員83名となる。

平成29. 4. 1　定員85名、職員新採用2名、実員85名体制となる。

平成29. 5. 1　職員1名退職、実員84名となる。

平成30. 1.16　総務省消防庁救急企画室事業「平成29年度寄贈救急自動車」により、アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車1台寄贈を受け本署に配置

平成30. 3.31　職員1名退職、実員83名となる。

3. 阿賀野市消防本部管轄区域図

4. 阿賀野市構造

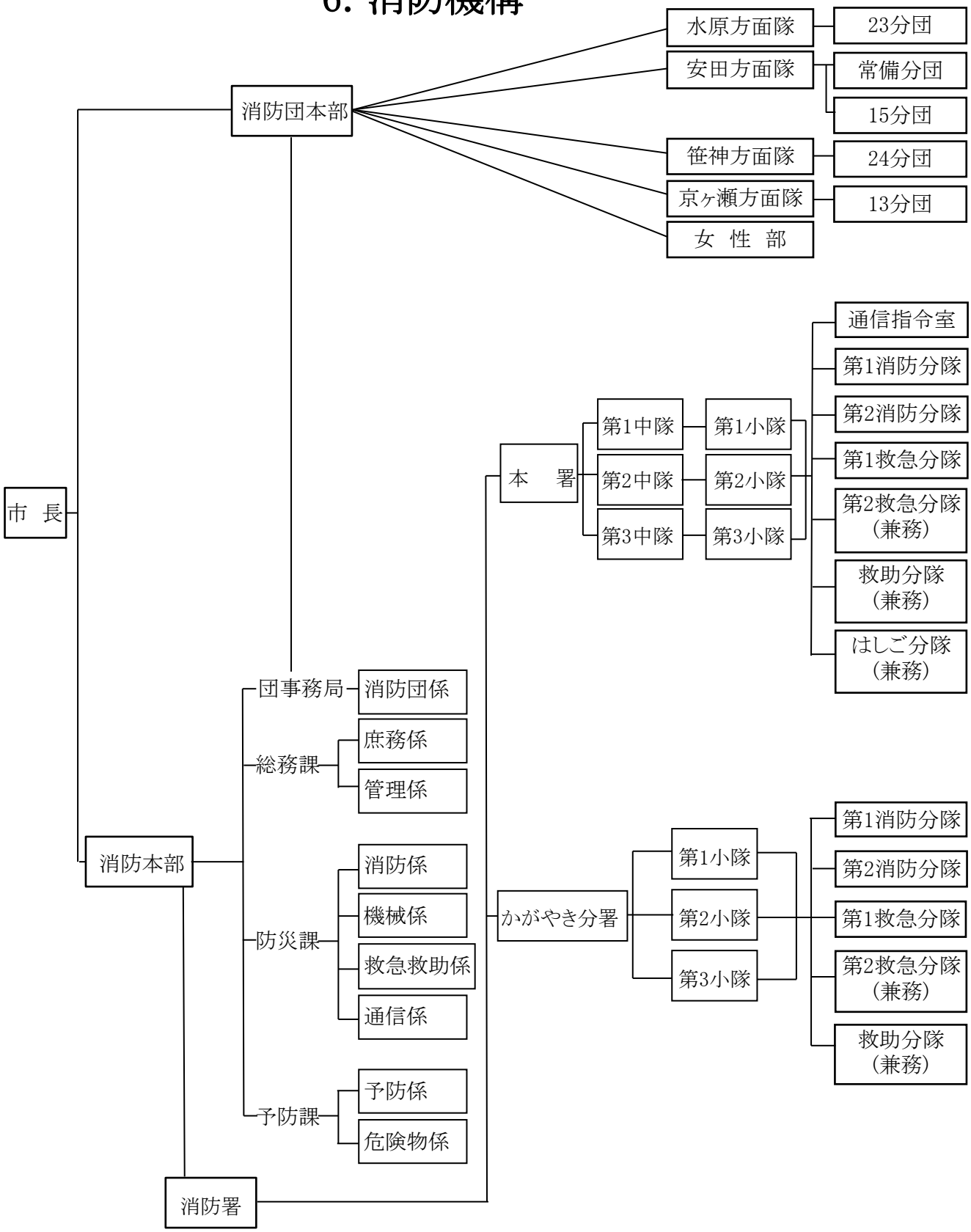
区　　分			
面積(27年国調)(k㎡)			192.74
人口(27年国調)(人)			43,421
世帯数(27年国調)			13,389
平成30年3月末 人口(人)			42,897
平成30年3月末 世帯数			14,422
産業構造	就業人口　人 (27年国調)　(%)		22,325 (100)
	第1次産業　人 (%)		2,106 (9.5)
	第2次産業　人 (%)		7,438 (33.3)
	第3次産業　人 (%)		12,153 (54.4)
	分類不能　人 (%)		628 (2.8)
市街地密集地等状況	市街地		1
	準市街地	人口10,000人未満 5,000人以上	1
		人口5,000人未満4,000人以上	
		人口4,000人未満3,000人以上	
		人口3,000人未満2,000人以上	2
		人口2,000人未満1,000人以上	3

※　市街地密集地等状況は、平成30年3月末。

5. 消防庁舎現況

名　称 所在地	構　造 建築年月日	面　積　㎡		
		敷　地	建　築	延　べ
消防本部・署 〒959-2003 阿賀野市安野町 14番4号 ℡ 0250-62-2058	鉄筋コンクリート造 一部3階建 昭和58年3月 平成26年3月増改築	5,925.68	1,034.72	1,898.54
かがやき分署 〒959-2206 阿賀野市かがやき 5917番地34 ℡ 0250-68-3007	鉄骨造2階建 平成26年3月	3,903.88	786.60	1,498.73

6. 消防機構


市　長
消防団本部
水原方面隊
23分団
安田方面隊
常備分団
15分団
笹神方面隊
24分団
京ヶ瀬方面隊
13分団
女　性　部
消防本部
団事務局
消防団係
総務課
庶務係
管理係
防災課
消防係
機械係
救急救助係
通信係
予防課
予防係
危険物係
消防署
本　　署
第1中隊
第2中隊
第3中隊
第1小隊
第2小隊
第3小隊
通信指令室
第1消防分隊
第2消防分隊
第1救急分隊
第2救急分隊
（兼務）
救助分隊
（兼務）
はしご分隊
（兼務）
かがやき分署
第1小隊
第2小隊
第3小隊
第1消防分隊
第2消防分隊
第1救急分隊
第2救急分隊
（兼務）
救助分隊
（兼務）

7. 消防予算歳出内訳

（単位：円）

年度別 科目	平成29年度 当初予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 当初予算額	平成30年度 前年度比較
9 消防費	901,970,000	865,909,233	880,097,000	△ 21,873,000
1 消防費	901,970,000	865,909,233	880,097,000	△ 21,873,000
1 常備消防費	623,269,000	626,462,856	647,429,000	24,160,000
(2) 給料	298,305,000	297,150,900	303,625,000	5,320,000
(3) 職員手当等	219,343,000	220,529,096	228,684,000	9,341,000
(4) 共済費	90,164,000	92,718,826	94,994,000	4,830,000
(8) 報償費	22,000	16,524	22,000	0
(9) 旅費	363,000	606,400	366,000	3,000
(11) 需用費	9,691,000	10,735,587	9,792,000	101,000
(12) 役務費	1,011,000	939,533	1,131,000	120,000
(13) 委託料	263,000	239,760	262,000	△ 1,000
(14) 使用料及び賃借料	1,734,000	1,222,680	1,043,000	△ 691,000
(16) 原材料費	79,000	72,261	73,000	△ 6,000
(18) 備品購入費	614,000	568,453	5,251,000	4,637,000
(19) 負担金補助及び交付金	1,427,000	1,369,636	1,684,000	257,000
(27) 公課費	253,000	293,200	502,000	249,000
2 非常備消防費	117,460,000	116,806,758	121,052,000	3,592,000
(1) 報酬	14,548,000	14,065,595	14,548,000	0
(8) 報償費	50,000	23,774	29,000	△ 21,000
(9) 旅費	9,125,000	9,327,000	8,986,000	△ 139,000
(10) 交際費	10,000	0	10,000	0
(11) 需用費	5,040,000	6,519,886	8,541,000	3,501,000
(12) 役務費	1,903,000	1,714,486	2,006,000	103,000
(13) 委託料	196,000	195,631	0	△ 196,000
(14) 使用料及び賃借料	219,000	211,906	217,000	△ 2,000
(15) 工事請負費	4,104,000	3,983,040	4,391,000	287,000
(18) 備品購入費	61,560,000	60,137,416	61,560,000	0
(19) 負担金補助及び交付金	20,474,000	20,408,624	20,448,000	△ 26,000
(27) 公課費	231,000	219,400	316,000	85,000
3 消防施設費	56,561,000	54,348,705	50,955,000	△ 5,606,000
(9) 旅費	0	0	0	0
(11) 需用費	12,154,000	11,635,670	11,574,000	△ 580,000
(12) 役務費	3,392,000	3,301,717	3,383,000	△ 9,000
(13) 委託料	7,448,000	6,290,291	9,425,000	1,977,000
(14) 使用料及び賃借料	1,311,000	1,146,508	1,173,000	△ 138,000
(15) 工事請負費	11,475,000	10,908,000	600,000	△ 10,875,000
(18) 備品購入費	0	0	1,565,000	1,565,000
(19) 負担金補助及び交付金	20,781,000	21,066,519	23,235,000	2,454,000
(25) 積立金	0	0	0	0
(27) 公課費	0	0	0	0

	4 救急業務費	41,557,000	28,582,745	4 救急業務費	12,052,000	△ 29,505,000
	(8) 報償費	22,000	12,335	(8) 報償費	26,000	4,000
	(9) 旅費	474,000	278,933	(9) 旅費	281,000	△ 193,000
	(11) 需用費	4,437,000	4,399,573	(11) 需用費	4,415,000	△ 22,000
	(12) 役務費	680,000	641,816	(12) 役務費	663,000	△ 17,000
	(13) 委託料	1,849,000	1,795,996	(13) 委託料	1,733,000	△ 116,000
	(14) 使用料及び賃借料	693,000	685,260	(14) 使用料及び賃借料	723,000	30,000
	(18) 備品購入費	32,755,000	20,133,900	(18) 備品購入費	1,943,000	△ 30,812,000
	(19) 負担金補助及び交付金	540,000	535,732	(19) 負担金補助及び交付金	2,193,000	1,653,000
	(27) 公課費	107,000	99,200	(27) 公課費	75,000	△ 32,000
	5 水防費	1,096,000	794,025	5 水防費	1,154,000	58,000
	(9) 旅費	938,000	645,600	(9) 旅費	938,000	0
	(11) 需用費	130,000	135,101	(11) 需用費	189,000	59,000
	(12) 役務費	28,000	13,324	(12) 役務費	27,000	△ 1,000
	6 災害対策費	61,828,000	38,796,142	6 災害対策費	47,256,000	△ 14,572,000
	(1) 報酬	48,000	0	(1) 報酬	48,000	0
	(3) 職員手当等	1,000,000	1,331,556	(3) 職員手当等	1,000,000	0
	(4) 共済費	208,000	8,074	(4) 共済費	12,000	△ 196,000
	(7) 賃金	1,279,000	840,000	(7) 賃金	995,000	△ 284,000
	(8) 報償費	40,000	0	(8) 報償費	90,000	50,000
	(9) 旅費	0	0	(9) 旅費	9,000	9,000
	(11) 需用費	8,196,000	7,438,449	(11) 需用費	3,401,000	△ 4,795,000
	(12) 役務費	1,187,000	1,101,261	(12) 役務費	1,461,000	274,000
	(13) 委託料	15,791,000	14,968,800	(13) 委託料	6,864,000	△ 8,927,000
	(14) 使用料及び賃借料	1,391,000	1,415,716	(14) 使用料及び賃借料	2,360,000	969,000
	(15) 工事請負費	8,964,000	6,814,800	(15) 工事請負費	5,000,000	△ 3,964,000
	(16) 原材料費	100,000	58,320	(16) 原材料費	94,000	△ 6,000
	(18) 備品購入費	22,000,000	49,680	(18) 備品購入費	22,000,000	0
	(19) 負担金補助及び交付金	1,624,000	4,531,486	(19) 負担金補助及び交付金	3,922,000	2,298,000
	7 山岳遭難救助対策費	199,000	118,002	7 山岳遭難救助対策費	199,000	0
	(9) 旅費	145,000	72,000	(9) 旅費	145,000	0
	(11) 需用費	44,000	42,850	(11) 需用費	44,000	0
	(12) 役務費	10,000	3,152	(12) 役務費	10,000	0

8. 消防費と人口・世帯の割合

区分 年度	消防費決算額 （千円）	人口一人当たりの 消防費　（千円）	１世帯当たりの 消防費　（千円）	消防吏員一人当り の消防費　（千円）
25	1,358,190	30	96	16,977
26	1,380,647	30	97	17,476
27	750,615	17	52	9,266
28	920,484	21	64	11,225
29	865,909	20	60	10,432

9. 消防吏員及びポンプ車の単位当りの面積・人口・世帯数

区分 年度	面積 ㎢	住基人口及世帯数（年度末） 人口	世帯	ポンプ車	消防吏員	ポンプ車１台当り 面積 ㎢	人口	世帯数	消防吏員１人当り 面積 ㎢	人口	世帯数
25	192.7	45,043	14,118	7	80	27.53	6,435	2,017	2.41	563	176
26	192.7	44,579	14,214	7	79	27.53	6,368	2,031	2.44	564	180
27	192.7	44,037	14,290	7	81	27.53	6,291	2,041	2.38	544	176
28	192.7	43,464	14,355	7	82	27.53	6,209	2,051	2.35	530	175
29	192.7	42,897	14,422	7	83	27.53	6,128	2,060	2.32	517	174

注：ポンプ車数には、ポンプ付き救助工作車１台とはしご車１台を含む。

注：消防吏員は各年度末数。

10. 消防吏員数

(1) 階　級　別

平成29年4月1日現在

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合　計
定員							85
実員	1	10	28	1	6	37	83

（単位　人）

(2) 勤続年数別

平成29年4月1日現在

階級／年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合　計
1年未満						2	2
1年以上2年未満						5	5
2年以上3年未満						5	5
3年以上5年未満						10	10
5年以上10年未満						15	15
10年以上15年未満					6		6
15年以上20年未満			1	1			2
20年以上25年未満			16				16
25年以上30年未満		4	11				15
30年以上35年未満		2					2
35年以上40年未満		4					4
40年以上	1						1
合計	1	10	28	1	6	37	83

（単位　人）

(3) 年　齢　別

平成29年4月1日現在

区分＼人員＼年令	計	～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	平均
人員（人）	83	3	21	11	8	6	18	7	7	2	35.3歳
構成比（%）	100	3.6	25.3	13.3	9.6	7.2	21.8	8.4	8.4	2.4	

11. 消防吏員特殊技能資格取得状況

（平成29年4月1日現在）（単位　人）

資格区分 ＼ 階級別			司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
自動車運転免許	一種	大型免許	1	9	28	1	6	29	74
		中型免許						1	1
		普通免許	1	10	28	1	6	37	83
		大型特殊免許	1	5	10		2	4	22
		けん引免許			1				1
		自動二輪免許	1	6	18	1	1	6	33
		原付免許		7	21	1	3	16	48
救急救命士				3	11	1	1	7	23
救急Ⅰ課程修了者			1	8	3				12
救急Ⅱ課程修了者			1	8	3				12
救急標準課程修了者				2	25	1	5	23	56
応急手当指導員			1	10	28	1	6	35	81
ＪＰＴＥＣプロバイダー				2	9	1	3	21	36
ＭＣＬＳコース修了者				2	11	1	1		15
ＩＣＬＳコース修了者				3	10	1	2	6	22
ＰＳＬＳコース修了者				3	8		2	4	17
ＡＣＬＳコース修了者									
消防設備士	甲種	第４類			1				1
		第５類			1				1
	乙種	第１類		1					1
		第２類		1					1
		第３類		1					1
		第４類		1	1				2
		第５類		1					1
		第６類		3	6	1	1	5	16
		第７類		1	1				2
危険物取扱者		乙種第１類		1	5	1		2	9
		乙種第２類		1	4	1		3	9
		乙種第３類		1	6	1	2	2	12
		乙種第４類		9	24	1	6	35	75
		乙種第５類		1	7	1	2		11
		乙種第６類		1	7	1	1		10
		丙種		3	4				7
予防技術資格者		防火査察専門員		1	4	1	2	1	9
		危険物専門員		2	4				6
		消防用設備等専門員			3				3
消防設備点検資格者		第１種						1	1
		第２種						1	1

（平成29年4月1日現在）（単位　人）

階級別 資格区分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
第２級陸上特殊無線技士	1	10	28			1	40
第３級陸上特殊無線技士				1	6	34	41
アマチュア無線技士		6	6				12
アセチレンガス溶接士技能者		4	5	1	1	2	13
１級小型船舶操縦者		2	1				3
２級小型船舶操縦者		2	4				6
潜水士		2	3	1	1	1	8
小型移動式クレーン運転技能講習		4	9	1	5	17	36
玉掛技能		6	13	1	5	16	41
２級建築士		1					1
足場の組み立て等作業主任者	1	4	3		1		9
乙種火薬類取扱保安責任者		1					1
酸素欠乏危険作業主任者		3	4		2	3	12
第２種酸素欠乏危険作業主任者			11	1	1	1	14
特定化学物質等作業主任者		2	1				3

防災

【平成 29 年の火災概要】

○　火災発生件数は 10 件で前年より 8 件の減であった。

○　火災種別は建物火災 8 件、その他火災 2 件であった。

○　焼損棟数は 14 棟で、全焼 3 棟、半焼 1 棟、部分焼 6 棟、ぼや 4 棟であった。

○　焼損面積は建物火災焼損床面積 499.7 ㎡、焼損表面積 15.3 ㎡、その他火災焼損表面積 12 ㎡であった。

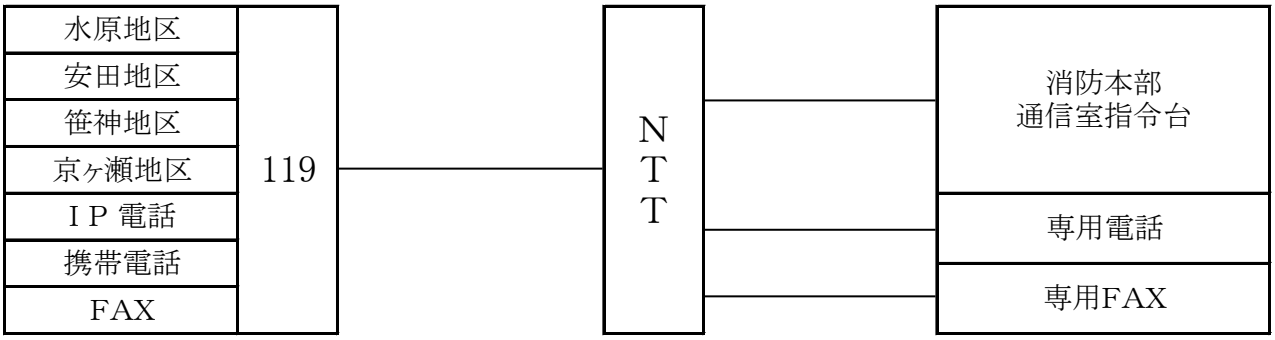
○　損害額は 30,324 千円で、前年比較 10,973 千円の減であった。

○　出火原因はこんろ 1 件、ストーブ 1 件、電灯・電話等の配線 1 件、たき火 1 件、火入れ 1 件、放火 1 件、放火の疑い 1 件、その他 2 件、不明が 1 件であった。

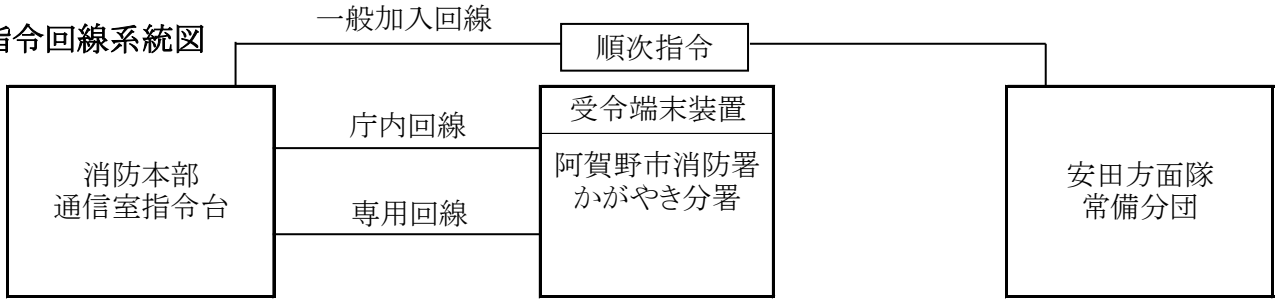
○　死者 1 名、負傷者 3 名であった。

12. 消防通信系統図

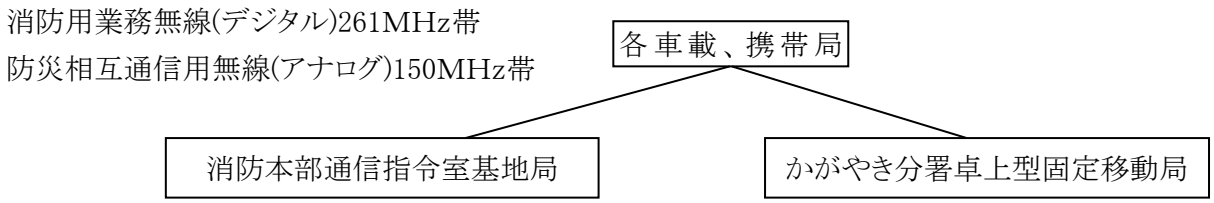
119番入電系統図



指令回線系統図

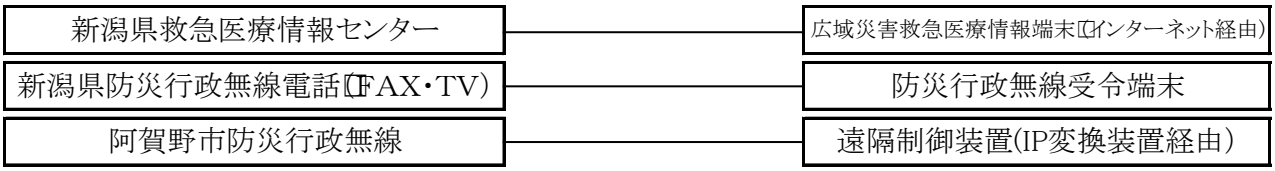


無線系統図

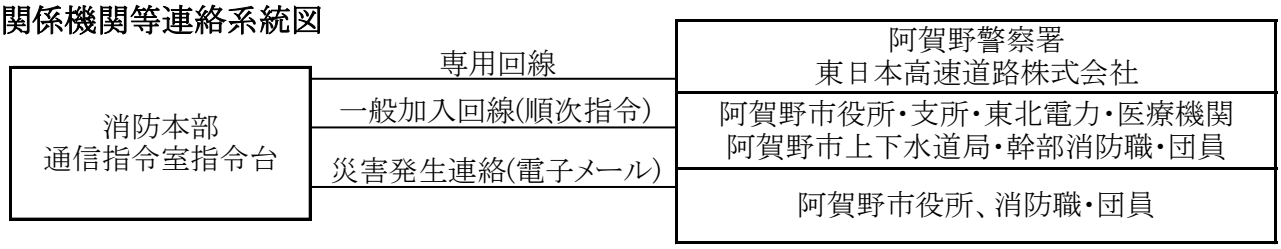


電話関係

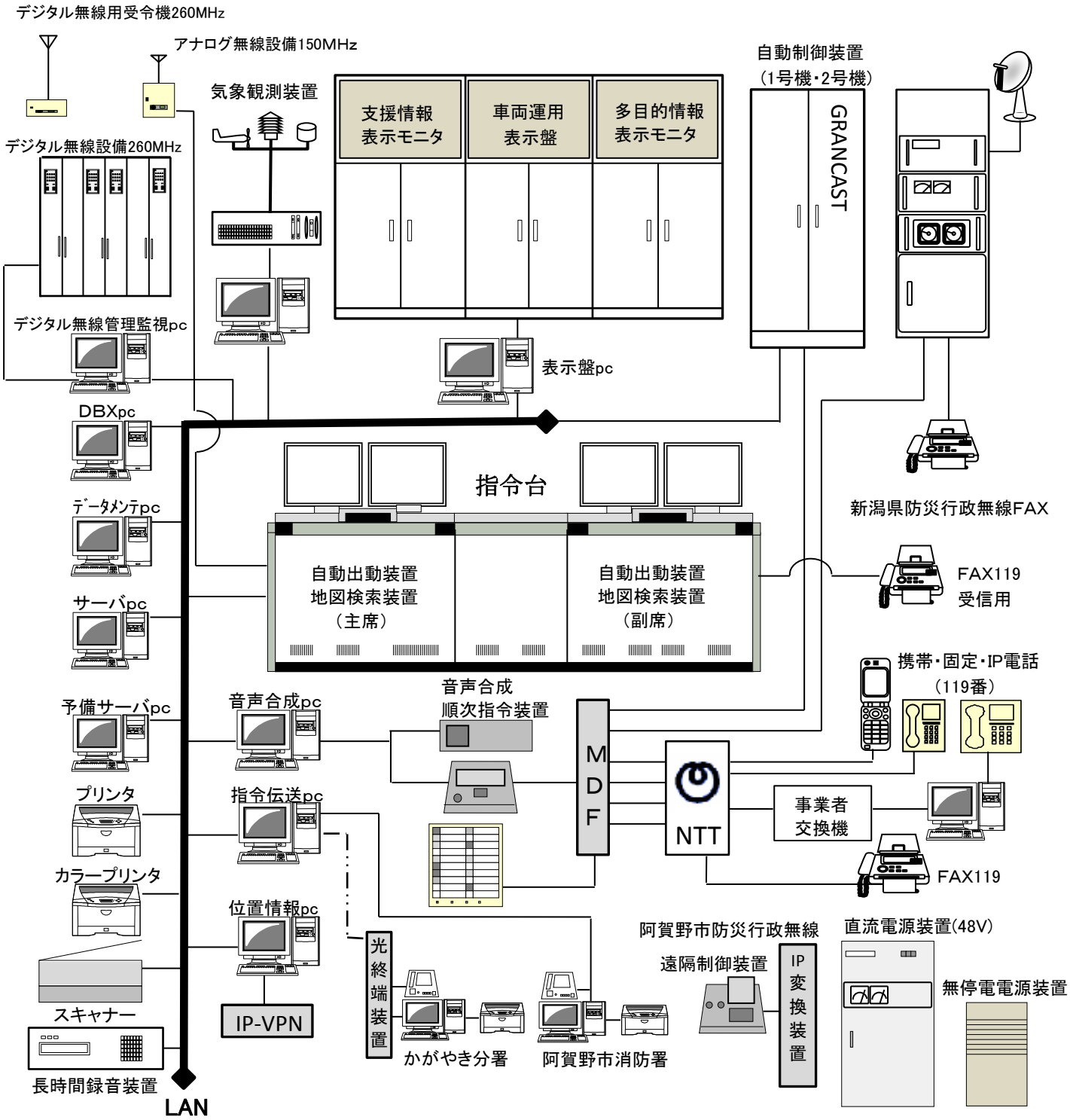
情報関係



関係機関等連絡系統図



13. 消防緊急通信指令施設構成



14. 無線局の配備状況

区分 識別信号	出力 (W)	種別	配置場所	移動体	備　　考
あがのしょうぼうほんぶ	10	基地	阿賀野市消防本部		デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのしょうぼう901	10	卓上固定	かがやき分署		デジタル方式
あがのしき　1	10	車載	阿賀野市消防本部	指揮車	デジタル方式
あがのしき　2	10	車載	阿賀野市消防本部	指揮支援車	デジタル方式
あがのぽんぷ　1	10	車載	阿賀野市消防本部	ポンプ車	デジタル方式
あがのぽんぷ　5	10	車載	阿賀野市消防本部	ポンプ車	デジタル方式
あがのたんく　1	10	車載	阿賀野市消防本部	タンク車	デジタル方式
あがのれすきゅー　1	10	車載	阿賀野市消防本部	救助工作車	デジタル方式
あがのはしご　1	10	車載	阿賀野市消防本部	はしご車	デジタル方式
あがのしょうぼう 15	10	車載	阿賀野市消防本部	広報車	デジタル方式
あがのしょうぼう 16	10	車載	阿賀野市消防本部	人員輸送車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう　1	10	車載	阿賀野市消防本部	救急車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう　3	10	車載	阿賀野市消防本部	救急車	デジタル方式
あがのぽんぷ　2	10	車載	かがやき分署	ポンプ車	デジタル方式
あがのぽんぷ　3	10	車載	かがやき分署	ポンプ車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう　2	10	車載	かがやき分署	救急車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう　5	10	車載	かがやき分署	救急車	デジタル方式
あがのたんく　2	10	車載	安田常備分団器具置場	団ポンプ車	デジタル方式
あがのしき　20	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　21	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　22	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　23	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　60	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　61	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　62	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　63	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき　65	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぽんぷ 30	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぽんぷ 31	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぽんぷ 34	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのたんく 32	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのたんく 33	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのれすきゅー 40	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのれすきゅー 41	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのはしご 42	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのはしご 43	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式

区分 識別信号	出力 (W)	種別	配置場所	移動体	備　　考
あがのきゅうきゅう 50	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 52	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 70	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 71	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 72	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 74	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 64	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぽんぷ 35	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぽんぷ 36	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぽんぷ 37	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぽんぷ 38	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのたんく 39	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 51	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 53	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのしょうぼう 73	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのしょうぼう 108	5	携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 112	5	携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式

15. 消防車両一覧

平成30年3月31日現在

所属	無線呼出名称	車種	車名	登録番号	購入年月	ポンプ名型式	摘要
消防本部・署	あがのぽんぷ1	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 7219	H26.12	モリタ CD－Ⅰ	CAFS 水600L 緊援隊補助
	あがのたんく1	水槽付ポンプ車	日野	新潟 800 は 575	H16.3	モリタ 水－Ⅱ	水2,000L 防衛庁補助事業
	あがのぽんぷ5	普通ポンプ車	いすゞ	新潟 800 さ 3825	H13.3	モリタ CD－Ⅰ	可搬ポンプ積載
	あがのしき1	指揮車	三菱	新潟 800 さ 7653	H16.3		日本消防協会より寄贈
	あがのはしご1	梯子付ポンプ車	日野	新潟 800 は 674	H17.3	モリタ ME-5	ポンプ搭載 24M級
	あがのれすきゅー1	救助工作車	日野	新潟 800 は 1327	H24.3	モリタ RⅡ型	ポンプ搭載 緊援隊補助
	あがのきゅうきゅう1	救急車	トヨタ	新潟 800 す 7292	H27.2	高規格	防衛省補助事業
	あがのきゅうきゅう2	救急車	トヨタ	新潟 800 す 9553	H29.12	高規格	アステラス製薬より寄贈
	あがのしょうぼう16	人員輸送車	トヨタ	新潟 57 も 7413	H5.5		1BOXワゴン
	あがのしょうぼう13	資材搬送車	三菱	新潟 45 せ 6520	H10.3		トラック型
	あがのしき2	指揮支援車	トヨタ	新潟 800 さ 267	H10.7		
	あがのしょうぼう15	連絡車	トヨタ	新潟 400 と 760	H23.10		普通ライトバン
	あがのしょうぼう17	連絡車	スバル	新潟 41 さ 2837	H14.4		
	あがのしょうぼう18	連絡車	スバル	新潟 41 す 4947	H15.4		
かがやき分署	あがのぽんぷ2	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 8863	H29.2	モリタ CD－Ⅰ	
	あがのぽんぷ3	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 4200	H23.2	モリタ CD－Ⅰ	CAFS 水600L 防衛省補助事業
	あがのきゅうきゅう3	救急車	トヨタ	新潟 800 す 2319	H20.10	高規格	緊援隊補助
	あがのきゅうきゅう5	救急車	トヨタ	新潟 800 す 6664	H26.3	高規格	
	あがのしょうぼう19	連絡車	ダイハツ	新潟 41 こ 1305	H13.5		

16. 特殊機器等保有状況

区分	品名	数量	備考
救急機器材	自動心臓マッサージ器	4	コムスタット、ルーカス×3
	陰圧式固定用具	8セット	全身用×4、部分用×4
	加湿酸素吸入装置	4	
	人工呼吸器	4	オキシログ、アンサー×2、メデュマット
	吸引器	4	電池式
	パルスオキシメーター	5	
	電子体温計	8	即時用×4、低体温測定用×4
	電子血圧計	4	
	レスキューセット	4	
	スクープストレッチャー	4	
	喉頭鏡	4	マギール鉗子付
	エアウェイ	複数	気管挿管、LT、経鼻、経口
	救命浮輪	複数	
	救急車内消毒器	3	
	ベッドサイドモニター	4	観察用
	除細動器	4	日本光電
	AED	1	日本光電　二相性
	携帯電話	4	NTTドコモ(スマートフォン)
	耐電手袋	1	
	リトルアン(4体セット)	6	
	レコーディングレサシジュニア	1	(訓練用人形)レールダル
	レコーディングレサシベビー	2	(訓練用人形)レールダル、ヤガミ
	異物除去トレーナー	2	
	気道確保トレーナー	1	レールダル
	静脈路確保トレーナー	2	(腕用)レールダル
	AEDトレーナー	16	日本光電×8、フィリップス×8
	酸素ボンベ	23	2L
	〃	17	10L
	多数傷病者用救急セット	1	20人用
	トリアージシート(4色)	複数	
	点滴用スタンド	5	
	オキシクリップ	6	
	ハイテクバックボード一式	6	
	全自動高圧蒸気滅菌装置	2	
	エアウェイスコープ	1	
	静脈可視化装置	2	StatVein
	血糖測定器	4	
	防刃ベスト	6	

区分	品名	数量	備考
一般救助器具	かぎ付はしご	2	
	三連梯子	6	
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	1	
	空気式救助マット	1	ソフトランディングエアマット
	救命索発射銃	2	M-300型、M3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	8	ピタゴール等
	平担架	1	バックボード
重量物排除用	油圧スプレッダー	2	オグラマルチ
	可搬ウィンチ	1	TU-16
	マンホール救助器具	1	
切断用器具	油圧切断機	2	オグラマルチ
	エンジンカッター	1	スチール
	ガス溶断機	1	ペトロカッター
	チェーンソー	2	スチール
	鉄線カッター	6	
破壊用機器材	万能斧	17	弁慶、斧、ツルハシ
	ハンマー	6	ポンコツ、掛矢
	携帯用コンクリート破壊器具	1	ストライカー
検知・測定	可燃性ガス測定器	1	GX-2003
	有毒ガス測定器	1	GX-2003
	酸素濃度測定器	1	GX-2003
保護用器	空気呼吸器(予備ボンベ含む)	40	
	空気補充用ボンベ	77	
隊員用保護用具	耐電手袋	6	
	耐電用具一式	6	耐電衣、耐電ズボン、耐電長靴
	防塵メガネ	5	
	防毒マスク	5	S-CAP2、サカキ式3
	携帯警報器	5	レスキューコール
水難救助用具	流水救助器具一式	5	
	救命胴衣	15	ライフジャケット、PFD7
	救命浮環	3	
	救命ボート	3	アキレスゴムボート、アルミボート
	船外機	1	トーハツ:20馬力
	胴付長靴	3	
山岳	登山器具一式	9	
	バスケット担架	3	
	スケッドストレッチャー	1	

区分	品名	数量	備考
その他救助用器具	投光器一式	8	
	携帯投光器	24	ポーターライト7
	携帯拡声器	9	
	携帯無線機	33	各車両
	応急処置用セット	6	
	車両移動器具	4	ゴージャック
	発電機	7	
	衛星携帯電話	1	アイサットフォン
重量物	マット型空気ジャッキ一式	1	ホルマトロ
	大型油圧スプレッダー	1	ホルマトロ
	コンビツール	1	ルーカス
切断用	空気鋸	1	
	大型油圧切断機	1	ホルマトロ
	空気切断機	1	
破壊	削岩機	1	
	ハンマドリル	1	
呼吸	防塵マスク	9	カムホエリート3
	送排風機	1	

17. 消防水利の状況

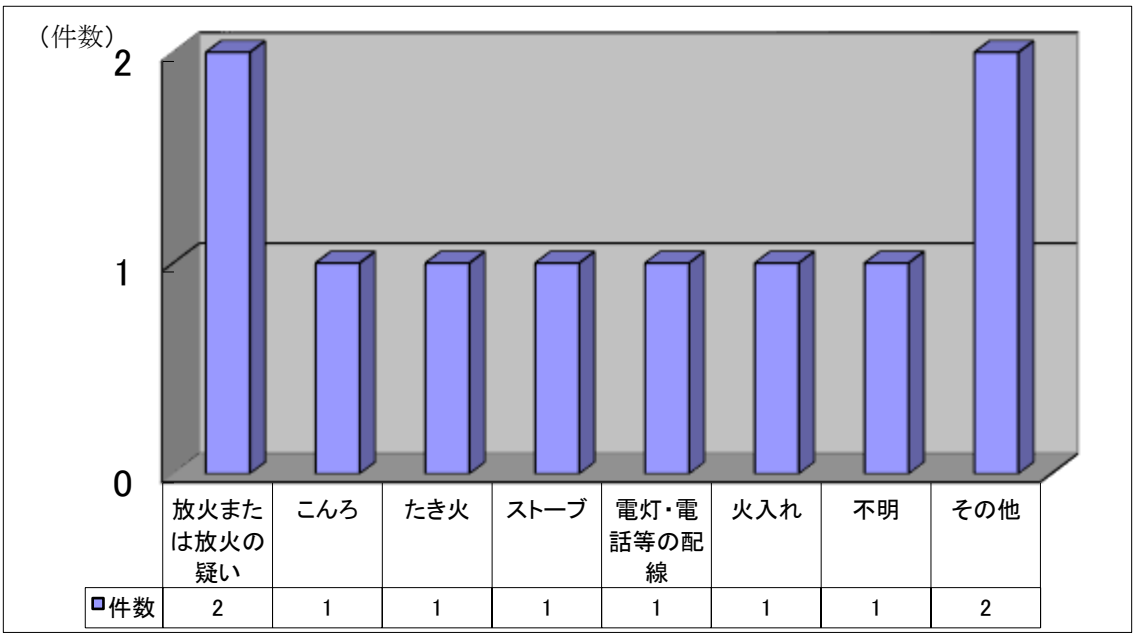
区分 / 地区別	消火栓		防火水槽		防火井戸		その他
	基準	基準以下	基準	基準以下	基準	基準以下	プールに限る
水原地区	134	320	17	2		35	3
安田地区	166	206	53	5			1
笹神地区	108	217	15	7			2
京ヶ瀬地区	92	200	5	6		32	1
合計	500	943	90	20		67	7

18. 火 災 統 計

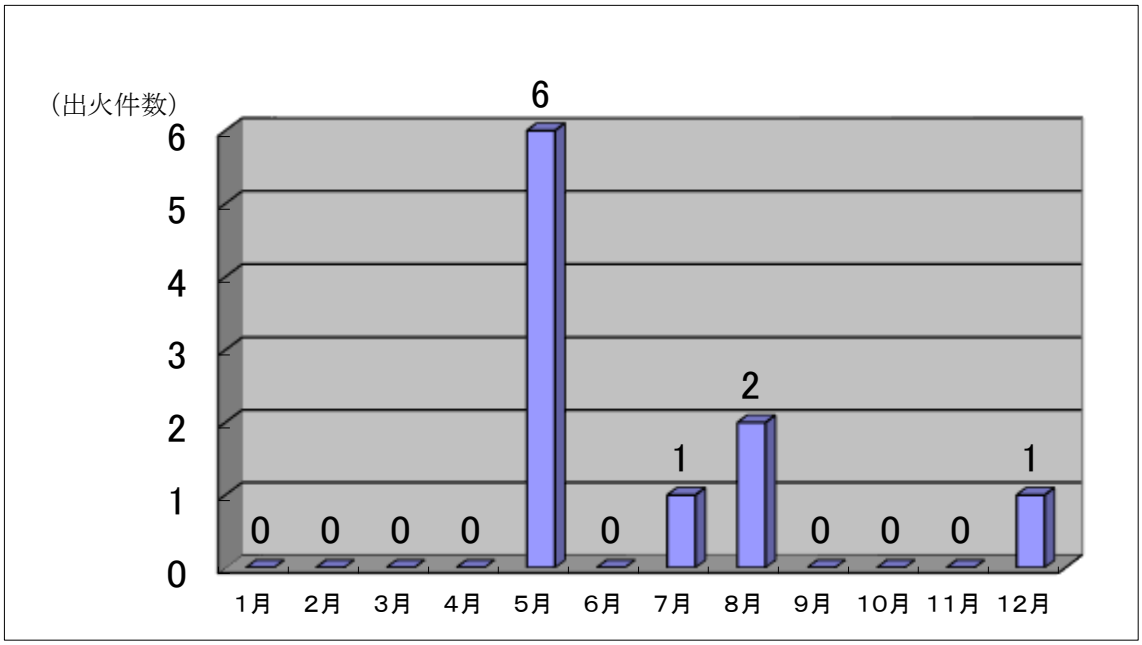
(1) 出火件数

区分	出火件数	死者数	負傷者数	損害額(千円)
全国(概数)	39,198	1,450	5,994	103,788,820
新　潟　県	476	34	93	2,685,913
阿 賀 野 市	10	1	3	30,324

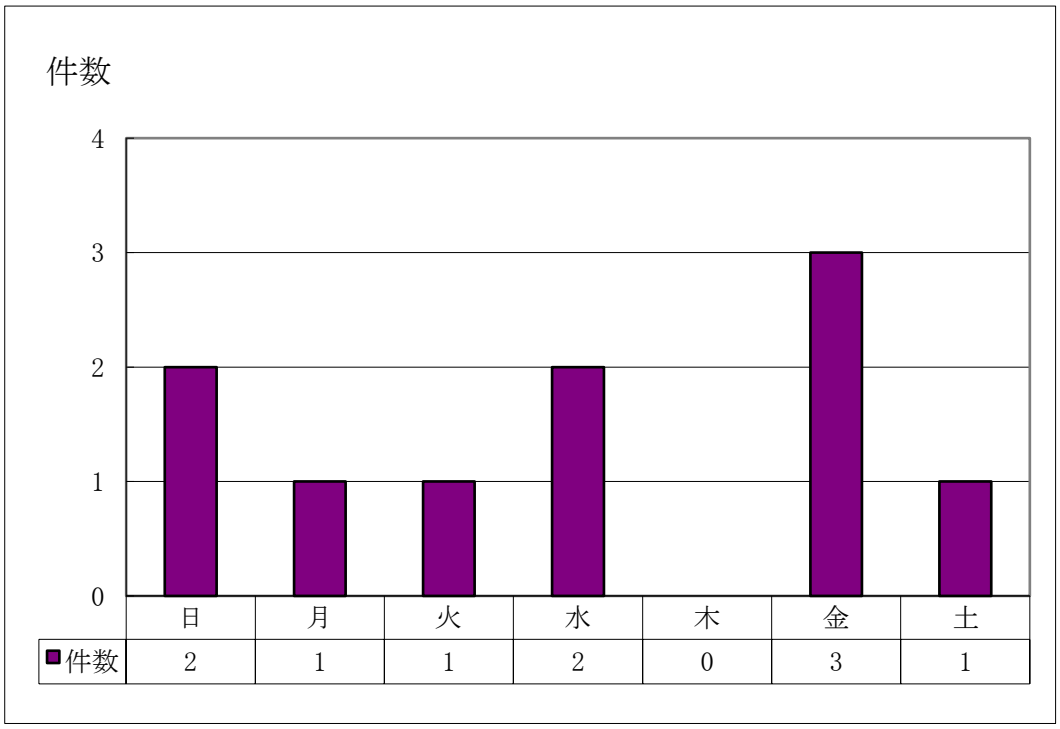
(2) 原因別出火状況



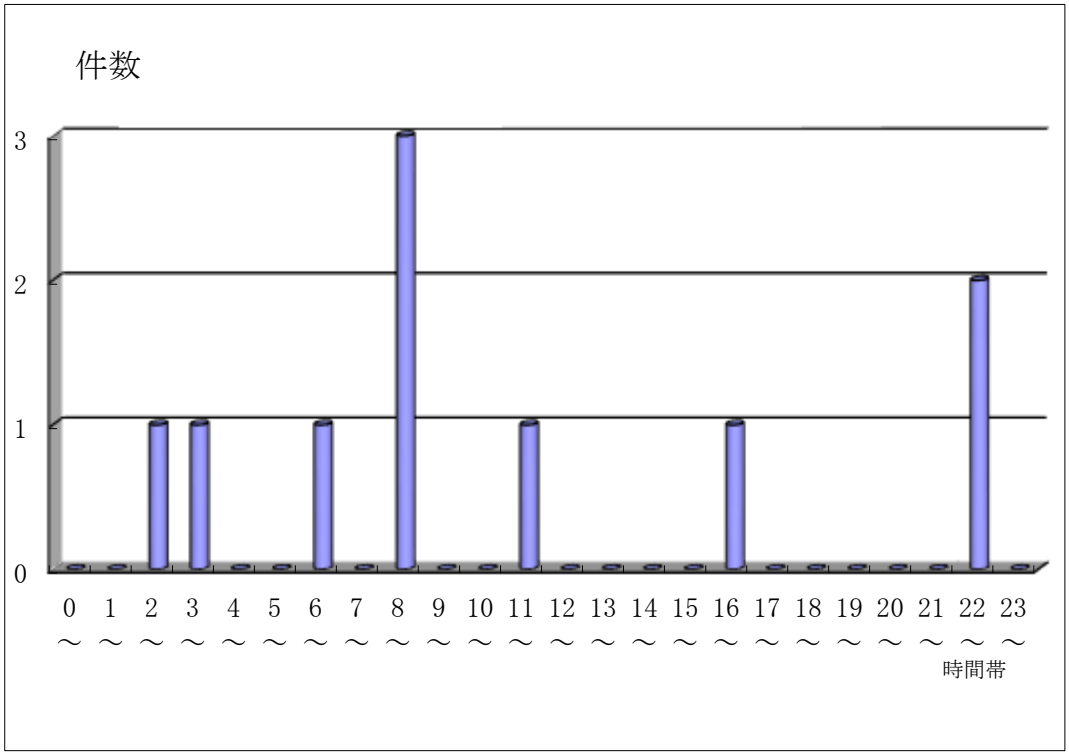
(3) 月別出火状況



(4) 曜日別出火状況

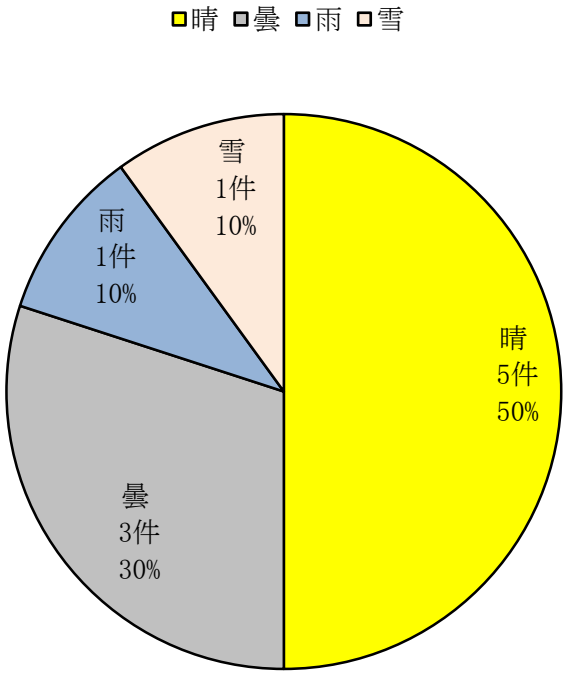


(5) 時間帯別出火状況

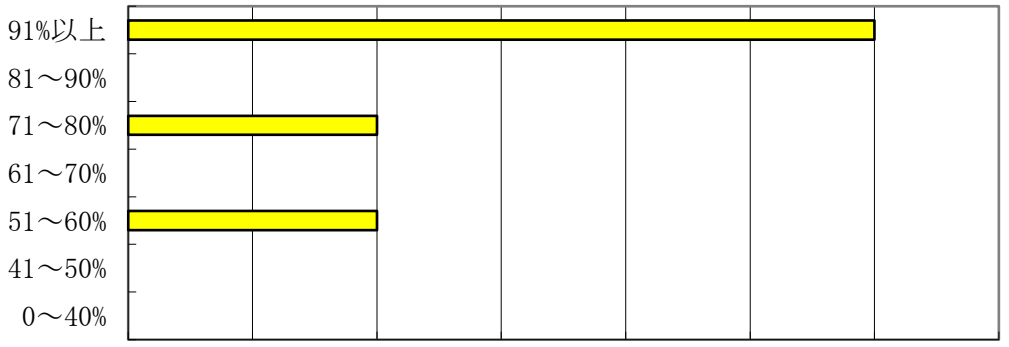


(6) 気象別出火状況

天　候

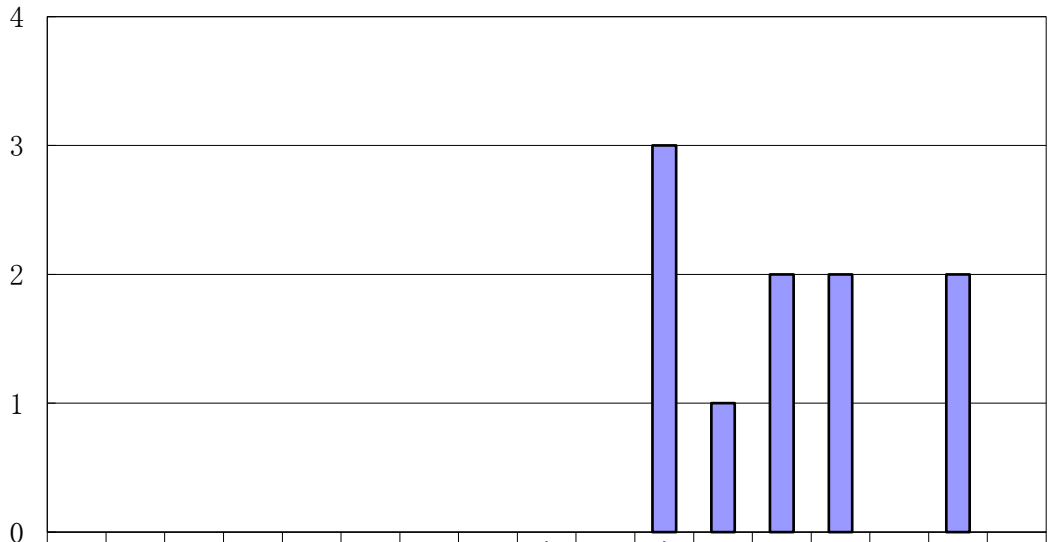


湿　度(相対)



	0～40%	41～50%	51～60%	61～70%	71～80%	81～90%	91%以上
系列1			2	0	2	0	6

風　向



	静穏	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西
件数											3	1	2	2		2	

(7) 平成29年火災記録明細表

発生番号	火災種別	出火月日	出火時刻	出火地区	出火原因	焼損面積(㎡)	焼損棟数 全焼	焼損棟数 半焼	焼損棟数 部分焼	焼損棟数 ぼや	死者数 死者	死者数 負傷者	損害額(千円)
1	建物	5月 1日	3:06	水原	その他					(1)			2
2	建物	5月 3日	22:13	京ヶ瀬	放火				(1)				17
3	建物	5月12日	2:20	京ヶ瀬	放火の疑い	67	(1)						1,955
4	建物	5月19日	8:50	水原	不明	237	(1)	(1)	2(1)			1	12,743
5	建物	5月19日	16:07	安田	こんろ	1.4			1				73
6	その他	5月21日	11:20	笹神	火入れ								
7	その他	7月 2日	6:30	笹神	たき火							1	1
8	建物	8月 9日	22:40	笹神	電灯・電話等の配線	148	1			2	1		2,202
9	建物	8月19日	8:15	京ヶ瀬	その他	43			1				12,820
10	建物	12月26日	8:10	京ヶ瀬	ストーブ	3.3				1		1	511
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
計	建物 8件 林野 0件 車両 0件 その他 2件			水原 2 安田 1 笹神 3 京ヶ瀬 4	焼損面積 焼損表面積 林野 車両	499.7 ㎡ 15.3 ㎡ 0 a 1 台	1 (2)	(1)	4 (2)	3 (1)	1	3	30,324

焼損棟数( )は非住宅

(8) 月別火災発生状況

種別 / 月別	火災件数					焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死傷者数		
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		計	死者	負傷者
1	0					0					0					0		
2	0					0					0					0		
3	0					0					0					0		
4	0					0					0					0		
5	6	5			1	9	2	1	5	1	3			3	11	1		1
6	0					0					0					0		
7	1				1	0					0					1		1
8	2	2				4	1		1	2	3	1		2	5	1	1	
9	0					0					0					0		
10	0					0					0					0		
11	0					0					0					0		
12	1	1				1				1	1			1	2	1		1
計	10	8	0	0	2	14	3	1	6	4	7	1	0	6	18	4	1	3

28年	18	13	1	2	2	25	9	2	5	9	10	3	1	6	38	6		6
29年	10	8	0	0	2	14	3	1	6	4	7	1		6	18	4	1	3
増減	△ 8	△ 5	△ 1	△ 2	0	△ 11	△ 6	△ 1	1	△ 5	△ 3	△ 2	△ 1	0	△ 20	△ 2	1	△ 3

種別 / 月別	焼損面積			損害額(千円)					
	建物(㎡)		林野 車両 その他	建物		林野	車両	その他	合計
				建物	収容物				
1									0
2									0
3									0
4									0
5	305.4	(15.3)	1台 廃材12㎡	13,042	1,557		191		14,790
6									0
7								1	1
8	191			14,477	545				15,022
9									0
10									0
11									0
12	3.3			445	66				511
計	499.7	(15.3)	1台 廃材12㎡	27,964	2,168	0	191	1	30,324

( )は焼損表面積

28年	562	(975.1)	3台	22,994	11,685	57	4,894	1,667	41,297
29年	309	(15.3)	1台 廃材12㎡	27,964	2,168	0	191	1	30,324
増減	△ 253	△ 959.8	廃材12㎡ △ 2台	4,970	△ 9,517	△ 57	△ 4,703	△ 1,666	△ 10,973

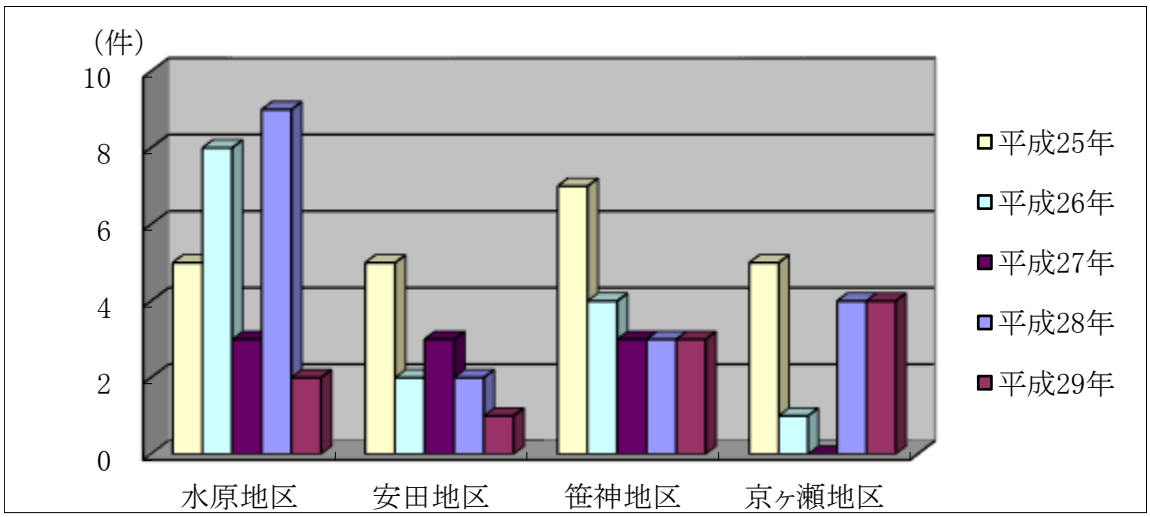
(9) 平成29年地区別火災記録明細表

項目 ＼ 地区		水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	合計
出火種別	建物	2	1	1	4	8
	林野					
	車両					
	その他			2		2
	計	2	1	3	4	10
焼損棟数	全焼	1		1	1	3
	半焼	1				1
	部分焼	3	1		2	6
	ぼや	1		2	1	4
	計	6	1	3	4	14
焼損面積	※1 建物 (㎡)	237 (12.3)	1.4	148	113.3 (3)	499.7 (15.3)
	林野 (a)					
	車両 (台)	1				1
	その他 (㎡)			12		12
損害額	建物 建物	11,463	66	2,000	14,435	27,964
	建物 収容物	1,091	7	202	868	2,168
	林野					
	車両	191				191
	その他			1		1
(千円)	計	12,745	73	2,203	15,303	30,324
り災世帯		2	1	2	2	7
り災人員		4	7	3	4	18
死者				1		1
負傷者		1		1	1	3
※2 出動台数		16(2)	5(1)	12(3)	23(4)	56(10)
※2 放水台数		6(1)		6	10	22(1)
吏員出動数		54	13	34	75	176
団員出動数		17	7	25	27	76
※3 出火率		2.3				

※1 ( )は、焼損表面積　※2 ( )は、消防団の車両　※3 出火率 人口1万人当たりの出火件数

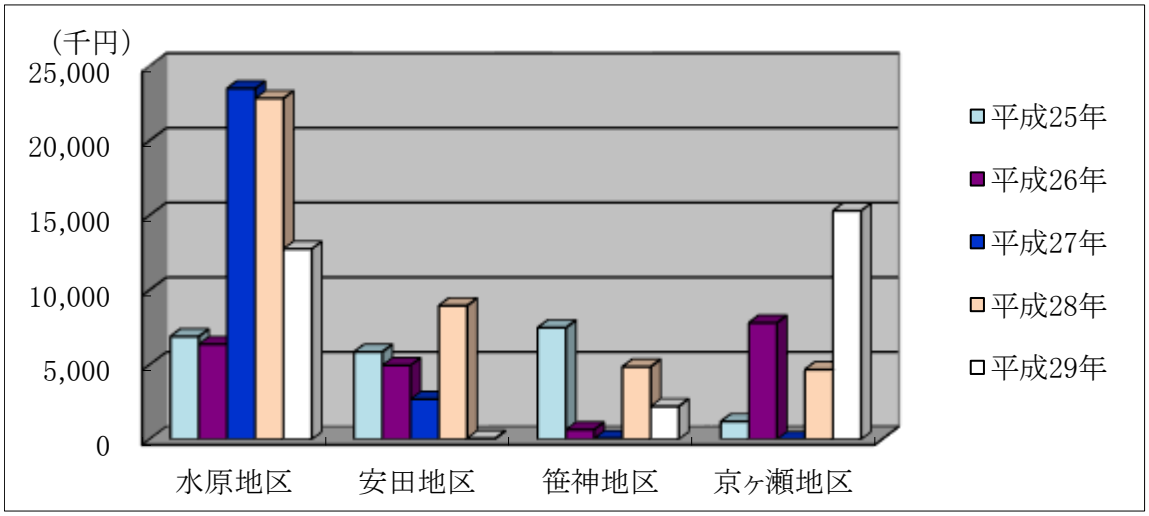
(10)火災状況(5年間)

火災発生件数



	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計 (件)
平成25年	5	5	7	5	22
平成26年	8	2	4	1	15
平成27年	3	3	3	0	9
平成28年	9	2	3	4	18
平成29年	2	1	3	4	10
計	27	13	20	14	74

損 害 額



	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計 (千円)
平成25年	6,885	5,853	7,472	1,195	21,405
平成26年	6,359	4,953	651	7,796	19,759
平成27年	23,485	2,694	66	0	26,245
平成28年	22,822	8,947	4,855	4,673	41,297
平成29年	12,745	73	2,203	15,303	30,324
計	72,296	22,520	15,247	28,967	139,030

(11) 月別火災件数(5年間)

地区別	月別 / 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
水原地区	平成25年		2				1		1		1			5
	平成26年			1	1	1	2	2					1	8
	平成27年							1	1	1				3
	平成28年	1	1	1	2	1		1	1		1			9
	平成29年					2								2
安田地区	平成25年		1			2		1		1				5
	平成26年				1						1			2
	平成27年			1					1				1	3
	平成28年							1	1					2
	平成29年					1								1
笹神地区	平成25年		1	1			1	2		1	1			7
	平成26年				2		1			1				4
	平成27年				1	1		1						3
	平成28年						1			1		1		3
	平成29年					1		1	1					3
京ヶ瀬地区	平成25年			2		1					1		1	5
	平成26年									1				1
	平成27年													0
	平成28年	1			1				1	1				4
	平成29年					2			1				1	4
合計		2	5	6	8	12	6	10	8	7	5	1	4	74

予防

【平成 29 年の概況】

○　危険物施設について

平成 30 年 3 月 31 日現在の施設数は､282 施設で前年度比較 7 施設の減であった。

○　危険物施設の立入検査について

年間計画に基づき危険物施設 282 について、延べ 262 回の立入検査を実施した。

また、危険物安全管理週間中に、安全協会役員と合同で施設の安全管理に関する意識の向上と災害防止を図るため、特別立入検査を実施した。

○　防火対象物の立入検査について

延べ面積 150 ㎡以上の防火対象物の総数 1593 のうち年間計画に基づき消防用設備義務設置の対象物 1321 について、延べ 899 回の立入検査を実施した。

○　確認申請の受理件数

前年度 65 件に対し、今年度 66 件で、前年度比較 1 件の増となった。

令別表第 1 用途別に見ると、前年度 32 件に対し今年度は 29 件で 3 件の減となった。

住宅については、前年度 10 件に対し今年度は 5 件で 5 件の減となった。

都市計画区域内(準防火地域を除く)で、一般住宅の消防同意は、通知書に改められている。

19. 危険物

(1) 製造所等の施設状況

平成30年3月31日現在

製造所等の別 / 地区別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計	282		172	22	24	1	67	1	55	2	110	45			65
本署管内	117		67	8	8		29		20	2	50	18			32
分署管内	165		105	14	16	1	38	1	35		60	27			33

(2) 製造所等の年度別施設状況

平成30年3月31日現在

製造所等の別 / 年度別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
平成25年度	296		180	20	22	1	78	1	56	2	116	49			67
平成26年度	294		179	20	23	1	74	1	58	2	115	48			67
平成27年度	285		173	20	24	1	70	1	55	2	112	47			65
平成28年度	289		177	20	24	1	69	1	60	2	112	47			65
平成29年度	282		172	22	24	1	67	1	55	2	110	45			65
前年度比較増減	△7		△5	2			△2		△5		△2	△2			

(3) 製造所等の許可・完成検査・廃止等の状況

平成30年3月31日現在

種別＼製造所等の別		合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総件数		82		34	6			8		20		48	14			34
許可	設置	5		5	2					3						
	変更	30		7	1			3		3		23	6			17
完成検査	設置	5		5	2					3						
	変更	30		8	1			3		4		22	6			16
仮使用承認																
廃止届		12		9				2		7		3	2			1

(4) 類別・製造所等の状況

平成30年3月31日現在

類別＼製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計	282		172	22	24	1	67	1	55	2	110	45			65
第1類															
第2類															
第3類															
第4類	280		171	21	24	1	67	1	55	2	109	45			64
第5類	2		1	1							1				1
第6類															

(5) 数量別・製造所等の状況

平成30年3月31日現在

製造所等の別 / 数量別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
計	282		172	22	24	1	67	1	55	2	110	45			65
5倍以下	137		103	7	6	1	33	1	55		34	4			30
5倍を越え10倍以下	52		25	3	8		13			1	27	6			21
10倍を超え50倍以下	61		38	9	10		18			1	23	13			10
50倍を超え100倍以下	9		2				2				7	7			
100倍を超え150倍以下	6		2	2							4	4			
150倍を超え200倍以下	7		1				1				6	6			
200倍を超え1000倍以下	10		1	1							9	5			4
1000倍を超え5000倍以下															

(6) 危険物施設立入検査の状況

平成30年3月31日現在

製造所等の別 / 地区別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計	262		161	19	22	1	67	1	49	2	101	41			60
本署管内	112		65	8	8		30		17	2	47	17			30
分署管内	150		96	11	14	1	37	1	32		54	24			30

20. 防火対象物

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別) (その1)

平成30年3月31日現在

防火対象物の区分 / 消防用設備の区分			1		2				3		4	5		6			
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ			
			劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業を営む店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有する病院	2 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し四人以上の患者を入院させるための施設	3 患者を入院させるための施設を有する診療所又は助産所	4 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は助産所
A, 防火対象物総数			2	19		5		2	16	16	60	38	125	2			20
B, Aのうち消防用設備を設置しなければならない防火対象物	計		2	19		5		2	16	16	60	38	110	2			20
	管轄別	本署	1	10		2		1	13	5	44	1	75	1			17
		かがやき分署	1	9		3		1	3	11	16	37	35	1			3
C, Aのうち消防用設備を要しない防火対象物数	計												15				
	管轄別	本署															
		かがやき分署											15				
D, Aのうち3階以上の防火対象物数	計			2					3			6	15	1			
	管轄別	本署		2					3				10	1			
		かがやき分署										6	5				

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別) (その2)

防火対象物の区分 ＼ 消防用設備の区分			6										
			ロ					ハ					ニ
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
			老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム	救護施設	乳児院	障害児入所施設	障害者支援施設	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人介護支援センター	更生施設	助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設	児童発達支援センター	身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター	幼稚園又は特別支援学校
A, 防火対象物総数			16				1	12		18		6	5
B, Aのうち消防用設備を設置しなければならない防火対象物	計		16				1	12		18		6	5
	管轄別	本署	9					8		11		3	4
		かがやき分署	7				1	4		7		3	1
C, Aのうち消防用設備を要しない防火対象物数	計												
	管轄別	本署											
		かがやき分署											
D, Aのうち3階以上の防火対象物数	計		7					1				1	1
	管轄別	本署	4					1					1
		かがやき分署	3									1	

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別) (その3)

防火対象物の区分 / 消防用設備の区分			7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		合計
					イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ	
			小、中、高、大学校等各種学校の類	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	車両の停車場の類	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前各項に該当しない事業場	(一)～(四)・(五)イ・(六)・(九)イが存する複合用途防火対象物	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	
A, 防火対象物総数			29	5		3	2	50	345		17		229	352	134	64	1593
B, Aのうち消防用設備を設置しなければならない防火対象物数	計		29	5		3	2	49	345		17		229	223	49	22	1321
	管轄別	本署	22	3			1	31	179		12		107	78	22	7	667
		かがやき分署	7	2		3	1	18	166		5		122	145	17	15	644
C, Aのうち消防用設備を要しない防火対象物数	計							1						129	95	42	282
	管轄別	本署												54	83	30	167
		かがやき分署						1						75	12	12	115
D, Aのうち3階以上の防火対象物数	計		16						8				4	22	10	3	100
	管轄別	本署	12						4				4	16	5	1	64
		かがやき分署	4						4					6	5	2	36

(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況（その1）

平成30年3月31日現在

防火対象物の区分 ＼ 消防用設備の区分			1		2				3		4	5		6			
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ			
			劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業を営む店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有する病院	2 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し四人以上の患者を入院させるための施設	3 患者を入院させるための施設を有する診療所又は助産所	4 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は助産所
法第8条適用防火対象物数	計		1	15		4		1	14	14	41	22	3	2			
	管轄別	本署	1	10		2		1	12	7	34	1	3	1			
		かがやき分署		5		2			2	7	7	21		1			
防火管理者を選任し届出ている防火対象物数	計		1	14		4		1	14	14	35	22	3	2			
	管轄別	本署	1	10		2		1	12	7	29	1	3	1			
		かがやき分署		4		2			2	7	6	21		1			
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	計		1	14		4		1	14	13	32	22	2	2			
	管轄別	本署	1	10		2		1	12	6	26	1	2	1			
		かがやき分署		4		2			2	7	6	21		1			

(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況（その2）

防火対象物の区分 ＼ 消防用設備の区分			6										二
			ロ					ハ					
			1 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム	2 救護施設	3 乳児院	4 障害児入所施設	5 障害者支援施設	1 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人介護支援センター	2 更生施設	3 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設	4 児童発達支援センター	5 身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター	幼稚園又は特別支援学校
法第8条適用防火対象物数	計		14				1	10		14		3	4
	管轄別	本署	8					7		10		3	3
		かがやき分署	6				1	3		4			1
防火管理者を選任し届出ている防火対象物数	計		14				1	9		13		3	4
	管轄別	本署	8					6		9		3	3
		かがやき分署	6				1	3		4			1
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	計		14				1	9		13		3	4
	管轄別	本署	8					6		9		3	3
		かがやき分署	6				1	3		4			1

(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況（その3）

防火対象物の区分 ＼ 消防用設備の区分			7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		合計	選任率 (%)
					イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ		
			小、中、高、大学校等各種学校の類	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	車両の停車場の類	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前各項に該当しない事業場	(一)～(四)・(五)イ・(六)・(九)イが存する複合用途防火対象物	イに掲げる以外の複合用途防火対象物		
法第8条適用防火対象物数	計		14	5		1		34	22					38	26	3	306	
	管轄別	本署	11	3				21	14					26	13	1	192	
		かがやき分署	3	2		1		13	8					12	13	2	114	
防火管理者を選任し届出ている防火対象物数	計		14	5		1		32	21					36	25	3	291	95.1%
	管轄別	本署	11	3				19	13					24	12	1	179	93.2%
		かがやき分署	3	2		1		13	8					12	13	2	112	98.2%
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	計		14	5		1		32	21					35	24	3	284	92.8%
	管轄別	本署	11	3				19	13					23	11	1	172	89.6%
		かがやき分署	3	2		1		13	8					12	13	2	112	98.2%

(3)　防火対象物立入検査の状況

平成30年3月31日現在

別表第１区分 ＼ 管轄別				防火対象物	立入検査回数		
					合計	本署	分署
合計				1,593	899	446	453
1	イ		劇場、映画館、演劇場又は観覧場	2	2	1	1
	ロ		公会堂又は集会場	19	18	10	8
2	イ		キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの				
	ロ		遊技場又はダンスホール	5	5	2	3
	ハ		性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ		カラオケボックス等	2	2	1	1
3	イ		待合、料理店その他これらに類するもの	16	16	13	3
	ロ		飲食店	16	13	5	8
4			百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	60	52	37	15
5	イ		旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	38	36	1	35
	ロ		寄宿舎、下宿又は共同住宅	125	65	34	31
6	イ	1	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有する病院	2	2	1	1
		2	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し４人以上の患者を入院させるための施設				
		3	患者を入院させるための施設を有する診療所又は助産所				
		4	患者を入院させるための施設を有しない診療所又は助産所	20	10	8	2
	ロ	1	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム	16	16	8	7
		2	救護施設				
		3	乳児院				
		4	障害児入所施設				
		5	障害者支援施設	1	1		1
	ハ	1	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人介護支援センター	12	11	8	4
		2	更生施設				
		3	助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設	18	18	11	7
		4	児童発達支援センター				
		5	身体障害者支援センター、障害者支援施設、地域活動支援センター	6	4	2	2
	ニ		幼稚園、又は特別支援学校	5	5	4	1
7			小、中、高、大学校等各種学校の類	29	29	22	7

別表第１区分 ＼ 管轄別			防火対象物	立入検査回数		
				合計	本署	分署
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	4	3	1
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3	3		3
10		車両の停車場の類	2	1		1
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	50	43	25	18
12	イ	工場又は作業場	345	212	97	115
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場	17	14	9	5
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	229	144	71	73
15		前各項に該当しない事業所	352	133	50	83
16	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが存する複合用途防火対象物	134	29	19	10
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	64	11	4	7

(4) 消防用設備等着工届受理状況

平成30年3月31日現在

月別 設備	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	58	3	8	1	2	7	5	1	2	2	8	3	16
屋内消火栓設備	4					2	1					1	
スプリンクラー設備	1		1										
自動火災報知設備	44	1	5	1	2	3	2	1	2	2	8	1	16
火災通報装置	4	1	1			1	1						
避難器具	2						1					1	
パッケージ型消火設備	3	1	1			1							

(5) 消防用設備等設置届受理状況

平成30年3月31日現在

月別 設備	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	105	6	10	7	10	6	3	18	1	9	1	13	21
消火器具	17	1	1	2	2	2		2		1		3	3
屋内消火栓設備	4						1	1		1			1
スプリンクラー設備	1				1								
粉末消火設備(第3種移動式)	2					1						1	
自動火災報知設備	40	3	5	3	3	1	1	5	1	5	1	4	8
火災通報装置	4		1		1		1	1					
非常警報設備	6	1	1					1		1		1	1
避難器具	3		1					2					
誘導灯	17		1	1	1			4		1		3	6
誘導標識	6			1	1	1		1				1	1
動力ポンプ設備	1					1							
パッケージ型消火設備	4	1			1			1					1

(6)　火災予防条例施行規則に基づく届出状況

平成30年3月31日現在

区分 月別	月計	防火対象物使用開始	道路工事	火災とまぎらわしい行為	催物開催	ボイラー・炉・かまど設置	少量危険物貯蔵	液化石油ガス貯蔵	煙火打上げ	変電設備等設置	指定可燃物	水素ガスを充填する気球の設置	露店等の開設届出書
年計	392	15	182	55	6	10	17	16	41	21	2		27
4	18		5	5			3	2	2	1			
5	17	1	11					1	2	1			1
6	46	1	18	1	1	1	3	2	15	3			1
7	38	1	20	3	1	1	1	2	2	3			4
8	49	3	21	1			1	1	14	1			7
9	45		27	3	2		3	2	3				5
10	50	1	24	4	2	2	1	4	2	2	1		7
11	22	1	14	1		1	1	1		3			
12	24	2	13	5						3	1		
1	33		7	24		1			1				
2	12	1	10	1									
3	38	4	12	7		4	4	1		4			2

21. 建築確認申請同意処理状況

(1) 用途別同意件数

平成30年3月31日現在

別表第１区分 ＼ 地区別				水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計
1	イ		劇場、映画館、演劇場又は観覧場					
	ロ		公会堂又は集会場					
2	イ		キャバレー、カフェー、ナイトクラブ その他これらに類するもの					
	ロ		遊技場又はダンスホール					
	ハ		性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ		カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗					
3	イ		待合、料理店その他これらに類するもの		2			2
	ロ		飲食店	1	1		1	3
4			百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	1				1
5	イ		旅館、ホテル又は宿泊所 その他これらに類するもの					
	ロ		寄宿舎、下宿又は共同住宅	1				1
6	イ	1	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有する病院		1			1
		2	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し四人以上の患者を入院させるための施設					
		3	患者を入院させるための施設を有する診療所又は助産所					
		4	患者を入院させるための施設を有しない診療所又は助産所					
	ロ	1	老人短期入所施設、養護老人ホーム 特別養護老人ホーム					
		2	救護施設					
		3	乳児院					
		4	障害児入所施設					
		5	障害者支援施設					
	ハ	1	老人デイサービスセンター、老人福祉センター 老人介護支援センター					
		2	更生施設					
		3	助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園 児童養護施設、児童自立支援施設				1	1
		4	児童発達支援センター					
		5	身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター					
	ニ		幼稚園又は特別支援学校					

7		小、中、高、大学校等各種学校の類					
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの					
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
10		車両の停車場の類					
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの					
12	イ	工場又は作業場	2	4	1		7
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫又は駐車場					
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14		倉　庫	3	1	2	1	7
15		前各項に該当しない事業所	3	2	1		6
16	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが存する複合用途防火対象物					
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物					
小　計			11	11	4	3	29
そ　の　他			4	9	12	7	32
専　用　住　宅			4	1			5
合　計			19	21	16	10	66

前　年　度　合　計	20	23	11	11	65

(2) 構造別同意件数

平成30年3月31日現在

構造別＼地区別	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計
木造1階建	7	8	5	2	22
木造2階建	5			1	6
木造3階建					
木造一部鉄骨造2階建					
鉄筋コンクリート1階建		1		1	2
鉄筋コンクリート2階建					
鉄筋コンクリート3階建					
鉄筋コンクリート4階建	1				1
鉄筋コンクリート地階					
鉄筋コンクリート一部木造1階					
鉄筋コンクリート一部木造2階					
鉄筋コンクリート一部鉄骨造1階建		2			2
鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建					
鉄骨造1階建	4	3	9	4	20
鉄骨造2階建	1	3	1		5
鉄骨造3階建					
鉄骨造2階建（地下1階）		1			1
鉄骨造一部ブロック造2階建					
軽量鉄骨造1階建		1		1	2
軽量鉄骨造2階建					
鉄骨一部木造1階建					
鉄骨一部木造2階建					
骨組膜構造1階					
アルミニウム合金造					
アルミ造1階建		2	1	1	4
鉄骨一部アルミ造1階建	1				1
その他					
合計	19	21	16	10	66

(3) 工事別同意件数

平成30年3月31日現在

地区別 工事別	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計
新築	16	16	15	6	53
改築	2			1	3
増築	1	4	1	2	8
移築					
用途変更				1	1
計画変更					
大規模の修繕、増築		1			1
その他（工作物）					
合計	19	21	16	10	66

不同意件数　なし

救急・救助

【平成 29 年の概況】

救　急

○　出場件数 1,771 件、前年比較 3 件増、搬送人員 1,551 人、前年比較 21 人減で出動件数は微増、搬送人員は減少した。

○　搬送人員のうち、高齢者が 984 人、前年比較 12 人増、全体の 63.4%を占めている。

○　搬送人員のうち、軽症が 718 人、前年比較 83 人減、全体の 46.2%を占めている。

○　医療機関への搬送状況は、422 人(27.2%)が管内の医療機関へ、1,129 人(72.8%)が管外の医療機関に搬送されている。

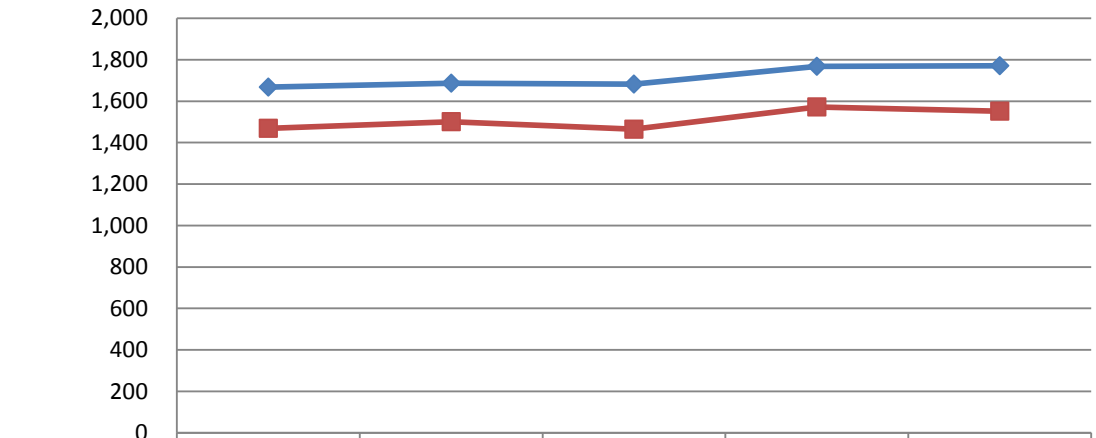
救　助

○　出動件数 25 件で交通事故 13 件、水難事故 4 件、機械による事故 1 件、建物等による事故 1 件、その他 6 件であった。

○　活動件数は交通事故 8 件、水難事故 3 件、機械による事故 1 件、建物等による事故 1 件、その他 6 件であった。

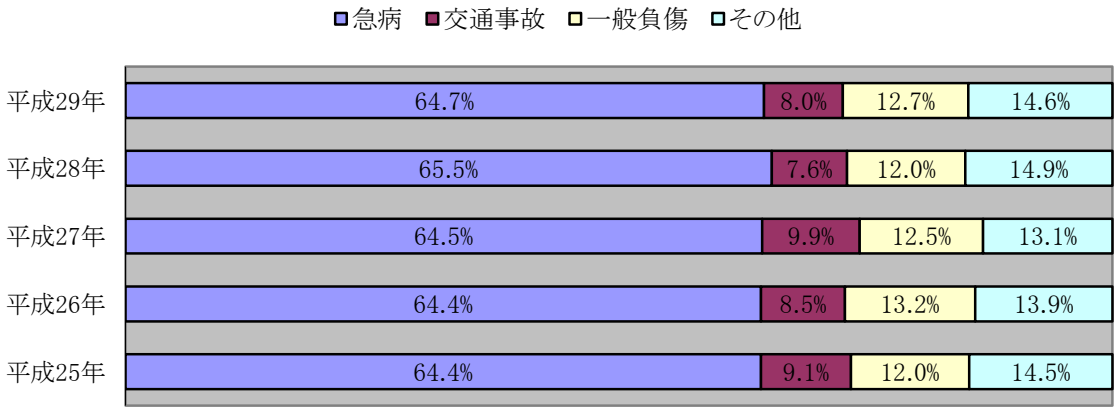
22. 救急統計

(1) 出場件数、搬送人員状況(5年間)

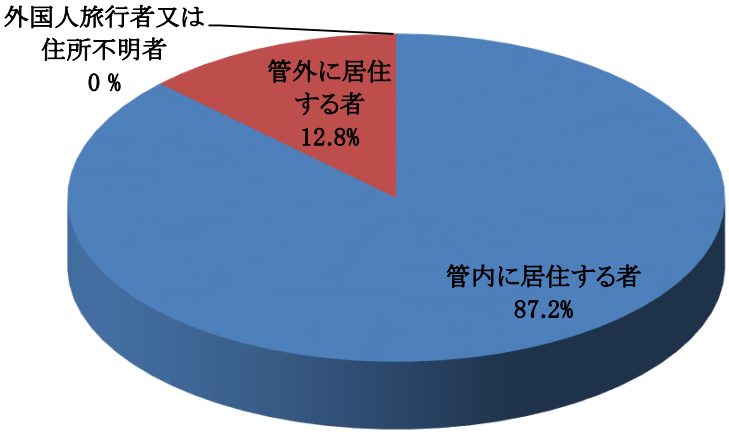


	25年	26年	27年	28年	29年
出場件数	1,668	1,686	1,682	1,768	1,771
搬送人員	1,469	1,501	1,465	1,572	1,551

(2) 主な事故種別割合(5年間)



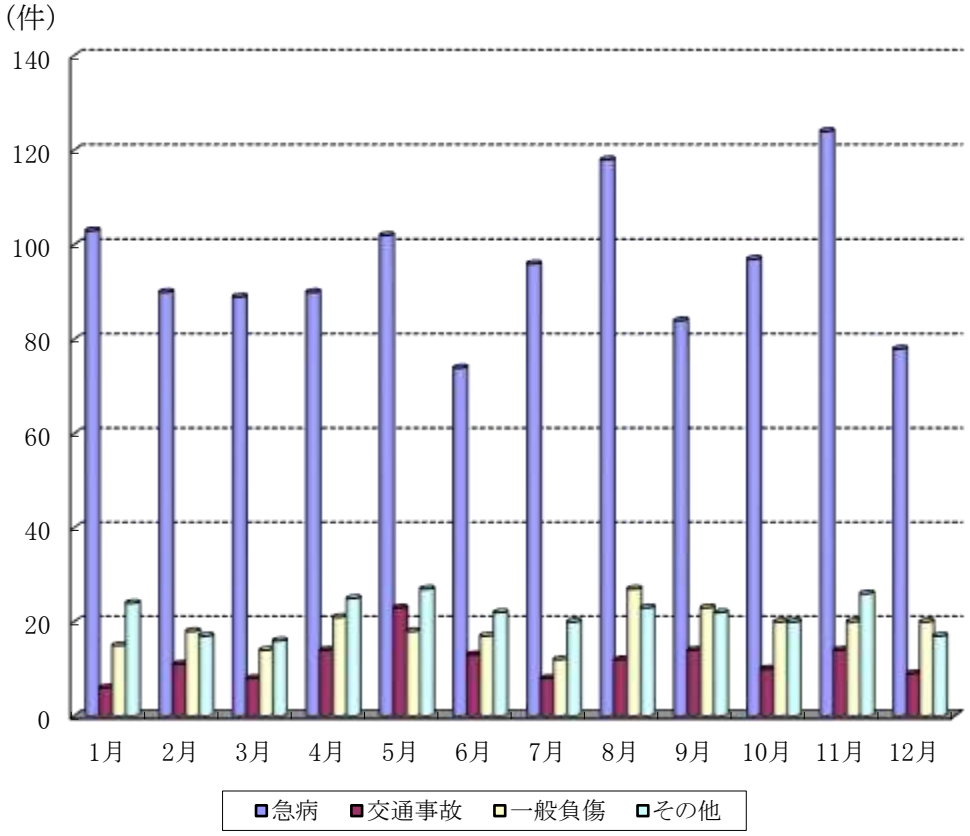
(3) 傷病者の住所別搬送状況



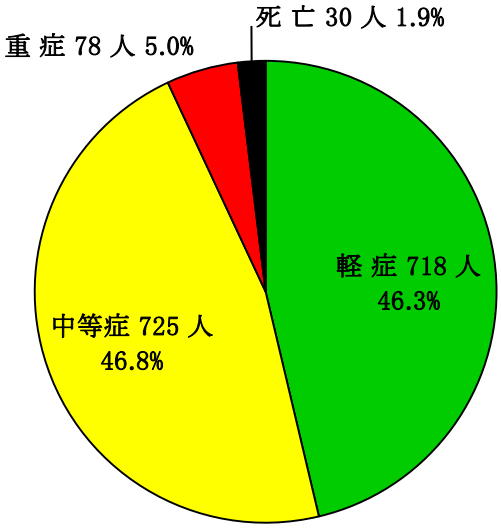
(4) 平成29年救急出場状況

区分		合計	救急種別											不搬送
			火災	自然災害	水難	交通	労災	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
1月	出動件数	148				6	1		15		1	103	22	16
	搬送人員	134				8	1		15			91	19	
2月	出動件数	136				11	4		18	1	2	90	10	18
	搬送人員	120				10	4		17	1	2	78	8	
3月	出動件数	127				8			14	1	2	89	13	16
	搬送人員	111				5			13		1	81	11	
4月	出動件数	150				14			21	1	2	90	22	20
	搬送人員	132				12			18			80	22	
5月	出動件数	170	4			23	1	1	18	1	1	102	19	21
	搬送人員	153	1			23	1	1	16		1	91	19	
6月	出動件数	126			1	13	1		17			74	20	17
	搬送人員	109				10	1		16			66	16	
7月	出動件数	136				8	2	1	12		3	96	14	17
	搬送人員	119				6	2	1	12			84	14	
8月	出動件数	180	2		1	12	3		27		2	118	15	20
	搬送人員	161			1	10	3		27		2	103	15	
9月	出動件数	143				14	1	2	23		3	84	16	25
	搬送人員	119				11	1	1	19		1	72	14	
10月	出動件数	147	1			10			20	1	6	97	12	18
	搬送人員	129				5			18	1	4	89	12	
11月	出動件数	184	1			14	4	2	20	1	3	124	15	25
	搬送人員	161				12	4	2	19			109	15	
12月	出動件数	124			1	9		1	20			78	15	21
	搬送人員	103				7		1	15			66	14	
合計	出動件数	1,771	8		3	142	17	7	225	6	25	1,145	193	234
	搬送人員	1,551	1		1	119	17	6	205	2	11	1,010	179	
比率	出動件数	100%	0.5%		0.2%	8.0%	1.0%	0.4%	12.7%	0.3%	1.4%	64.7%	10.8%	13.2%
	搬送人員	100%	0.1%		0.1%	7.7%	1.1%	0.4%	13.2%	0.1%	0.7%	65.1%	11.5%	

(5) 月別出場状況

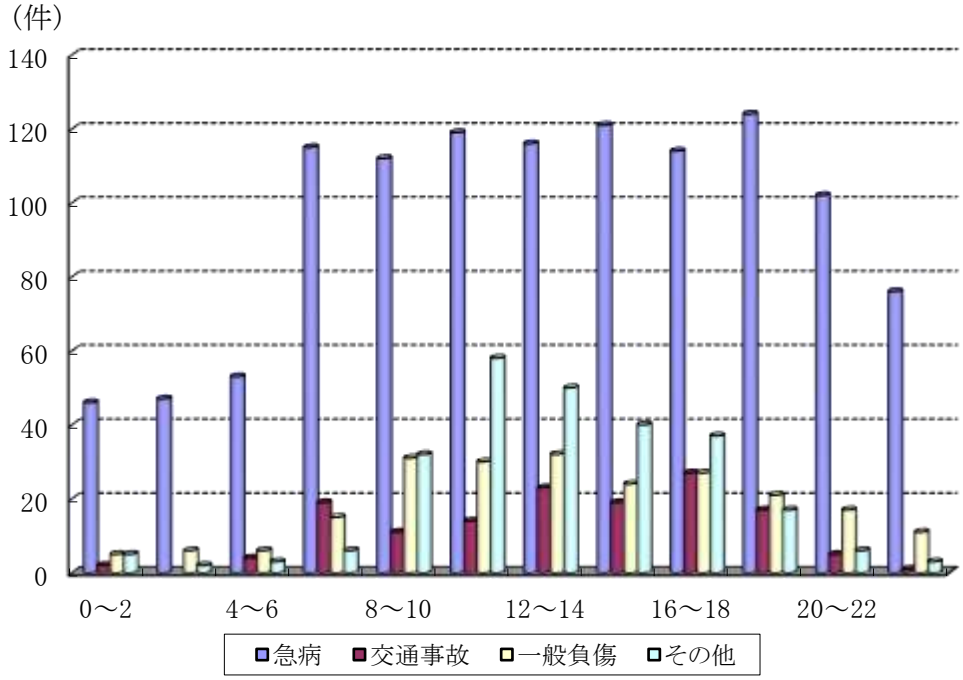


(6) 傷病程度別搬送人員

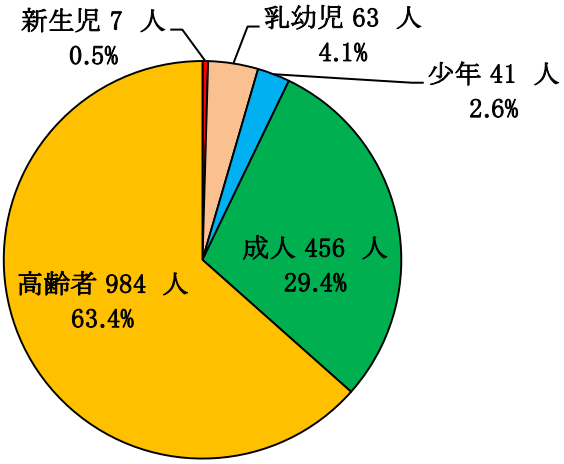


	急 病	交通事故	一般負傷	その他	計
軽 症	495	86	116	21	718
中等症	429	33	81	182	725
重 症	59	0	5	14	78
死 亡	27	0	3	0	30
計	1010	119	205	217	1551

(7) 覚知時刻別出場件数

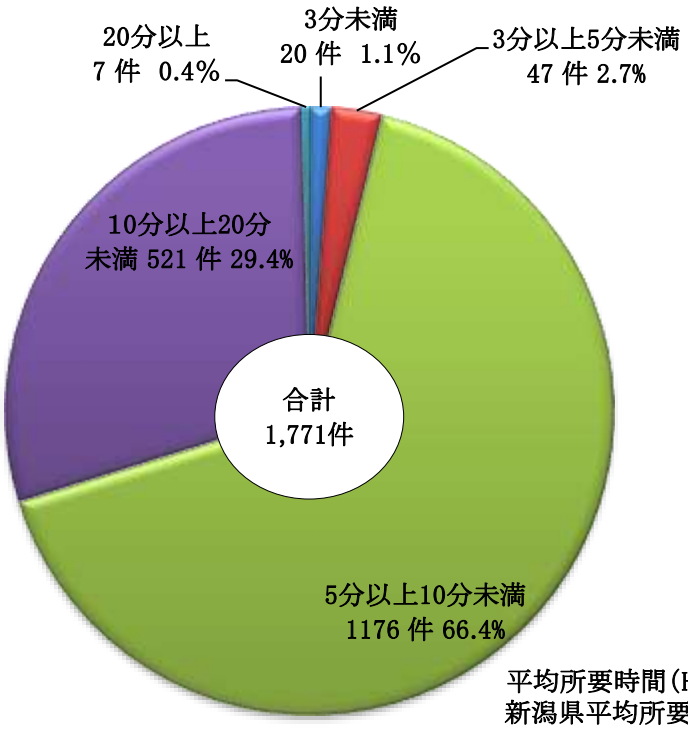


(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員



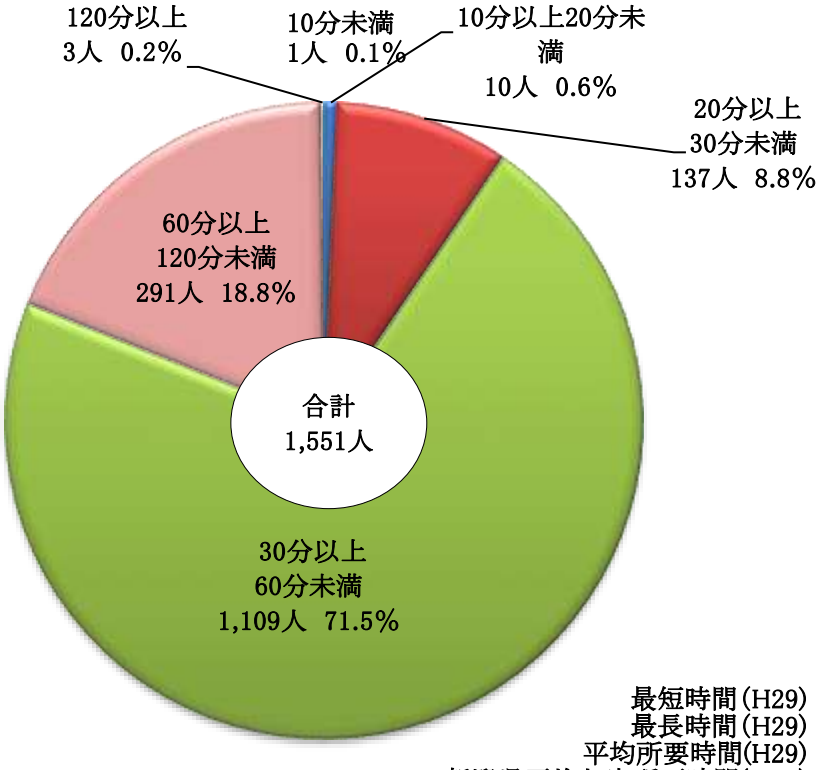
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火　　災				1		1
自然災害						
水　　難					1	1
交通事故		2	10	67	40	119
労働災害				11	6	17
運動競技			6			6
一般負傷		13	8	50	134	205
加　　害			1	1		2
自損行為				6	5	11
急　　病		44	12	288	666	1,010
そ の 他	7	4	4	32	132	179
合　　計	7	63	41	456	984	1,551

(9) 現場到着所要時間別出場件数



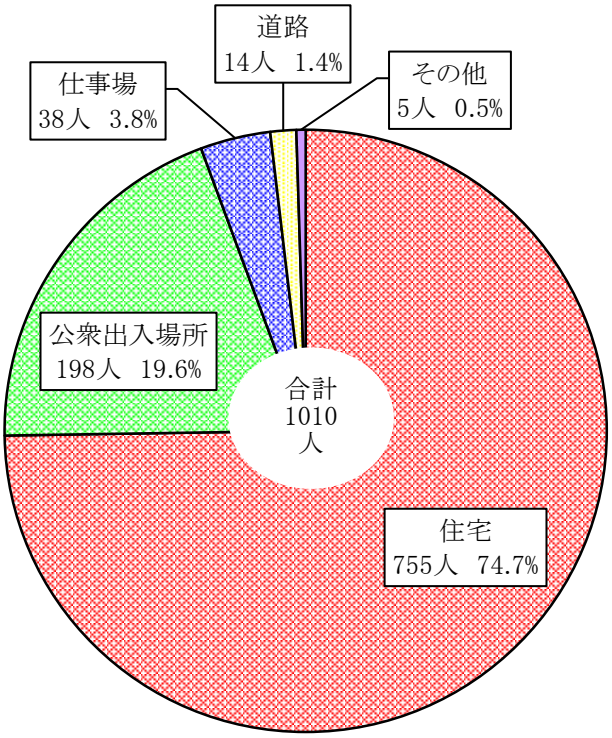
平均所要時間(H29)	8.4分
新潟県平均所要時間(H28)	8.9分
全国平均所要時間(H28)	8.5分

(10) 収容所要時間別搬送人員

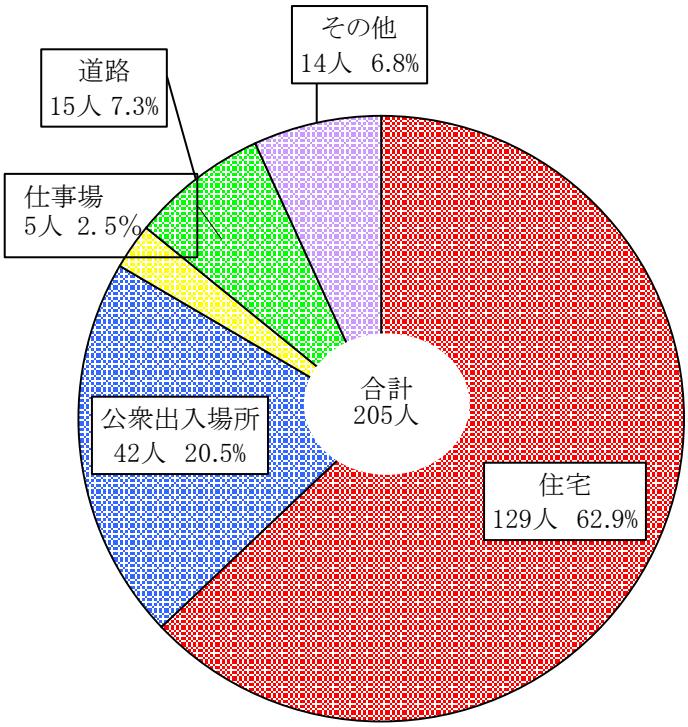


最短時間(H29)	14分
最長時間(H29)	134分
平均所要時間(H29)	48.4
新潟県平均収容所要時間(H28)	44.2分
全国平均収容所要時間(H28)	39.3分

(11) 急病、発生場所別搬送人員



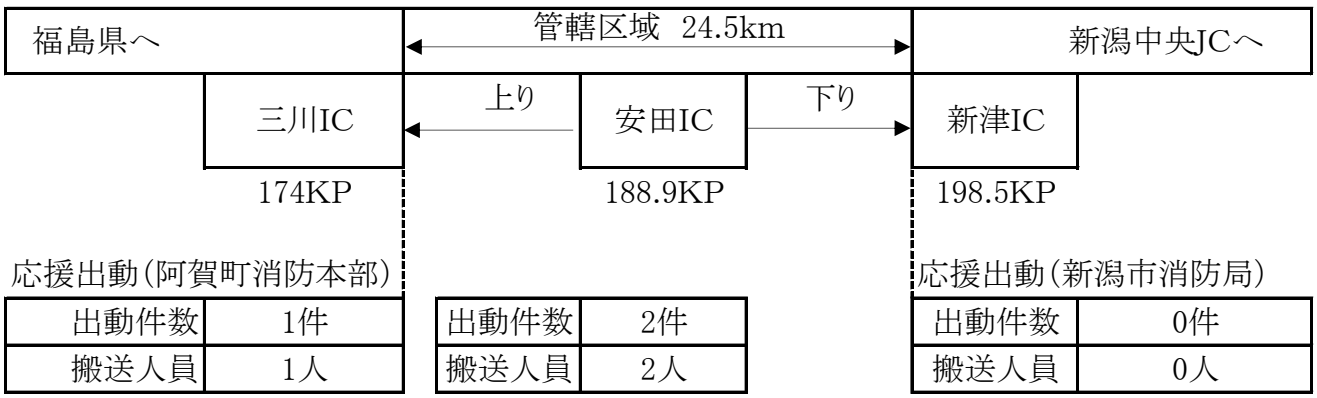
(12) 一般負傷、発生場所別搬送人員



(13) 応急処置等の状況

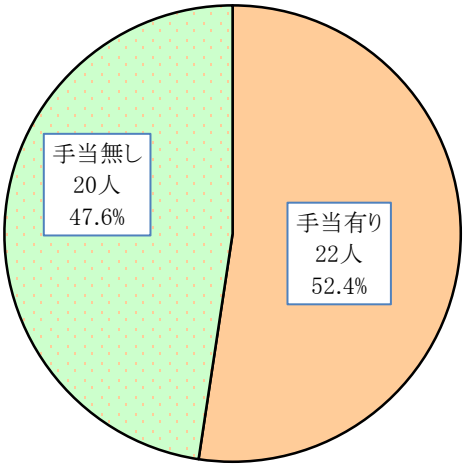
	急　病	交通事故	一般負傷	その他	合　計
止血	5	5	26	7	43
固定	2	59	25	8	94
人工呼吸	6		1	3	10
胸骨圧迫	9		1		10
心肺蘇生	33		3	1	37
酸素吸入	257	14	22	49	342
気道確保	47		7	5	59
保温	19	1	2	1	23
被覆	4	12	35	10	61
在宅療法継続	6				6
ショックパンツ					0
除細動	3		1		4
静脈路確保(輸液CPA前後)	37		2	2	41
薬剤投与	4		1		5
その他の応急処置	989	96	194	187	1,466
血圧測定	948	117	192	199	1,456
聴診器による心音等の聴取	330	43	29	30	432
血中酸素飽和濃度測定	973	118	196	211	1,498
心電図測定	921	79	144	160	1,304
血糖測定	44		1		45
ブドウ糖投与	4				4
処　置　合　計	4,641	544	882	873	6,940

(14) 磐越自動車道における救急出動状況

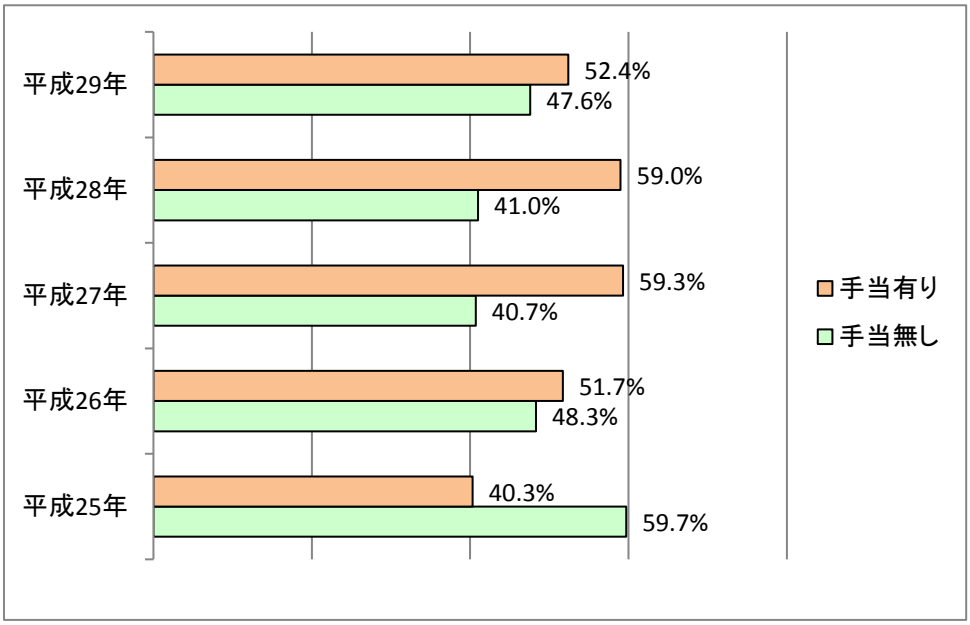


(15) CPA症例の状況

(ア)バイスタンダーによる応急手当等



(イ)バイスタンダーによる応急手当等の年別比較(5年間)



(16) 応急手当普及活動状況

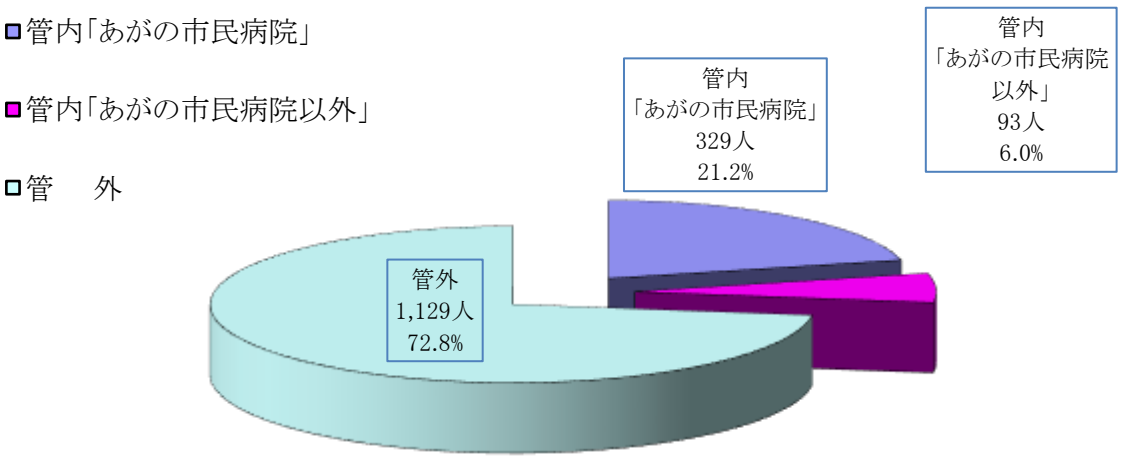
講習別＼月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	H28 計	H27 計	H26 計	H25 計
上級講習	回数																	
	人員																	
普通救命講習	回数		1			2	5		4	4				16	29	17	12	8
	人員		23			51	193		27	64				358	520	446	341	213
救命入門コース	回数	3	2			1		7	4	3	6	2	1	29	16	11	8	1
	人員	154	17			67		114	46	37	224	17	25	701	567	256	181	62
その他	回数	2	2	1	2	4	12	7	1	2	7	5	4	49	49	51	51	49
	人員	24	115	15	29	83	220	169	14	52	196	92	59	1,068	1,237	1,214	1,695	1,199
計	回数	5	5	1	2	7	17	14	9	9	13	7	5	94	94	79	71	58
	人員	178	155	15	29	201	413	283	87	153	420	109	84	2,127	2,324	1,916	2,217	1,474

23. 収容状況

(1) 収容状況

（人）

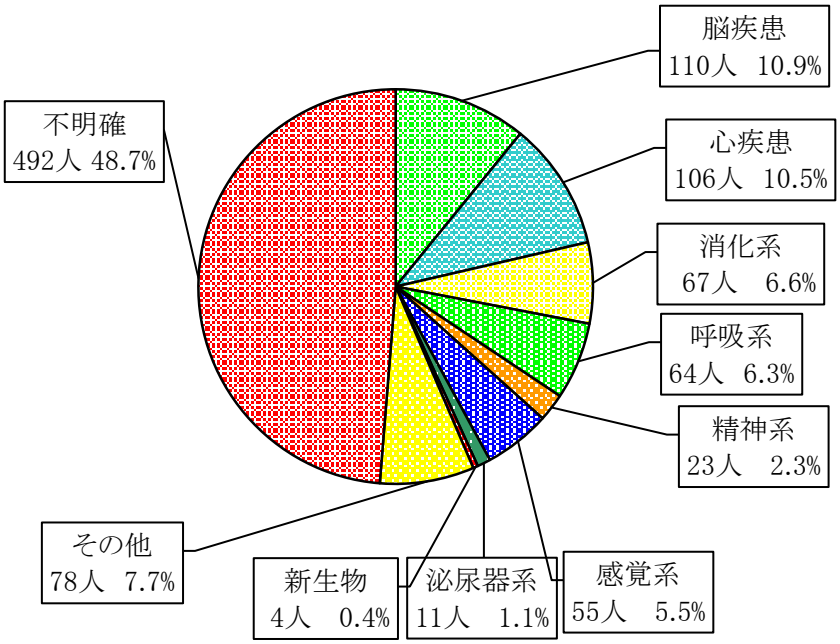
	管　内			管　外		
救急医療機関	国　立			国　立		7
	公　立			公　立		770
	公　的			公　的		44
	私的	病院		私的	病院	273
		診療所			診療所	
	計			計		1,094
その他の医療機関	国　立			国　立		
	公　立			公　立		17
	公　的		329	公　的		
	私的	病院	2	私的	病院	8
		診療所	91		診療所	10
	計		422	計		35
合計			422			1,129
その他の場所	接骨院等			接骨院等		
	その他			その他		
	計			計		
総計	1,551					



(2) 事故種別転送回数搬送人員

	急病	交通	一般負傷	その他	計
0回	994	119	202	212	1,527
1回	16		3	5	24
2回					
3回以上					
計	1010	119	205	217	1,551

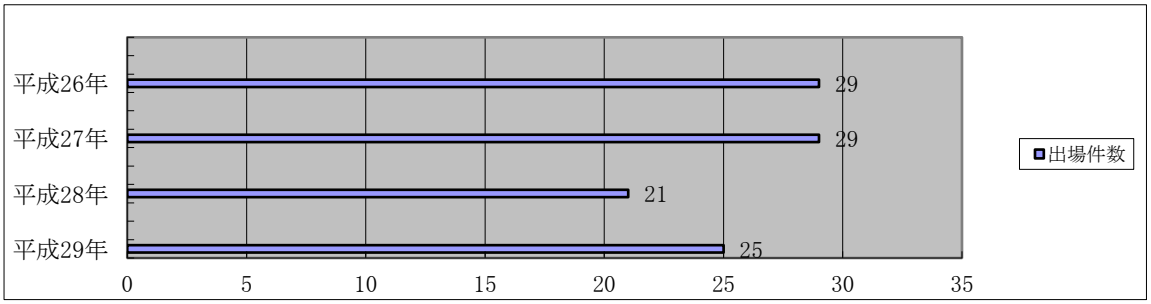
(3) 急病に係る疾病分類と搬送人員

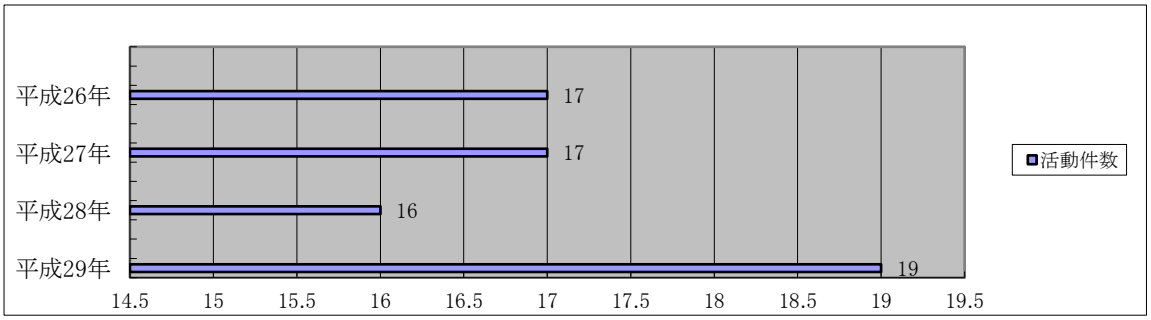


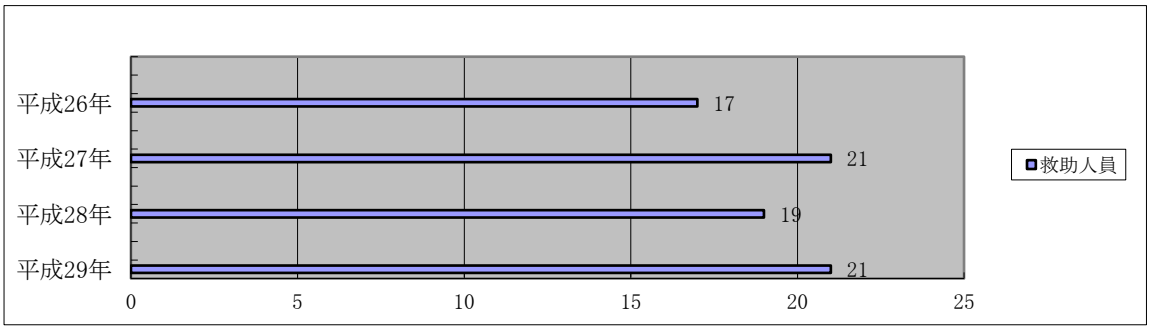
24. 救助統計

(1) 救助活動状況

		火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	計
		建物	建物以外									
平成25年	出動件数			24	3						3	30
	活動件数			16	3						2	21
	救助人員			17	3						2	22
平成26年	出動件数			17	4		1				7	29
	活動件数			11	2						4	17
	救助人員			12	1						4	17
平成27年	出動件数			24				3			2	29
	活動件数			16							1	17
	救助人員			20							1	21
平成28年	出動件数			13	3		1		1		3	21
	活動件数			10	3		1		1		1	16
	救助人員			12	4		1		1		1	19
平成29年	出動件数			13	4		1	1			6	25
	活動件数			8	3		1	1			6	19
	救助人員			11	2		1	1			6	21







○　平成 16 年 4 月 1 日、町村合併により阿賀野市が誕生したことに伴い、消防団も 4 つの消防団（水原町消防団、安田町消防団、笹神村消防団、京ヶ瀬村消防団）が 1 つになり、阿賀野市消防団が誕生した。

○　平成 17 年度に初の女性消防団、女性部「阿賀さくら」を発足。
消防団行事への参加の他、一人暮らし高齢者の住宅防火診断や幼保育園への防火紙芝居実施など予防業務を行なっている。
現在 部長 1 名、班長 1 名、団員8名の計10名で活動を実施している。

○　平成 19 年度から平成 21 年度の 3 年計画で組織再編を実施した。
平成 22 年度は定員 798 名、13 分団、76 部となっている。
平成 27 年度から指導体制強化のため、副分団長 12 名増やし、定員 810 名にした。
平成 30 年度から組織の安定と強化のため、次の変更を行った。
①年齢の上限の目安を 45 歳から 55 歳にした。
②嶋瀬を、野田を管轄する安田第 3 分団第 5 部に編入した。
③防火外とうを全団員に、また、防火ヘルメットを各部 5 個貸与することにした。

○　主たる事業は春秋の防火宣伝、水防工法演習、消防大会、防災訓練、出初式である。

○　平成 29 年に安田第 1 分団第 4 部が三市北蒲原地区支会のポンプ操法競技会小型ポンプの部で 2 位となり、新潟県消防大会への出場を果たした。

25. 消防団員数・年報酬等調べ

(1) 年報酬

平成29年4月1日現在(単位 円)

区分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
阿賀野市	119,500	76,400	48,300	41,800	33,600	18,500	14,000

(2) 諸手当 (1回又は1日につき)

平成29年4月1日現在(単位 円)

区分	会　議	訓　練	災害出動	警　戒	捜　索
阿賀野市	3,000	4時間未満 3,000 4時間以上 5,400	3,000	3,000	3,000

(3) 消防団員数

平成29年4月1日現在(単位 人)

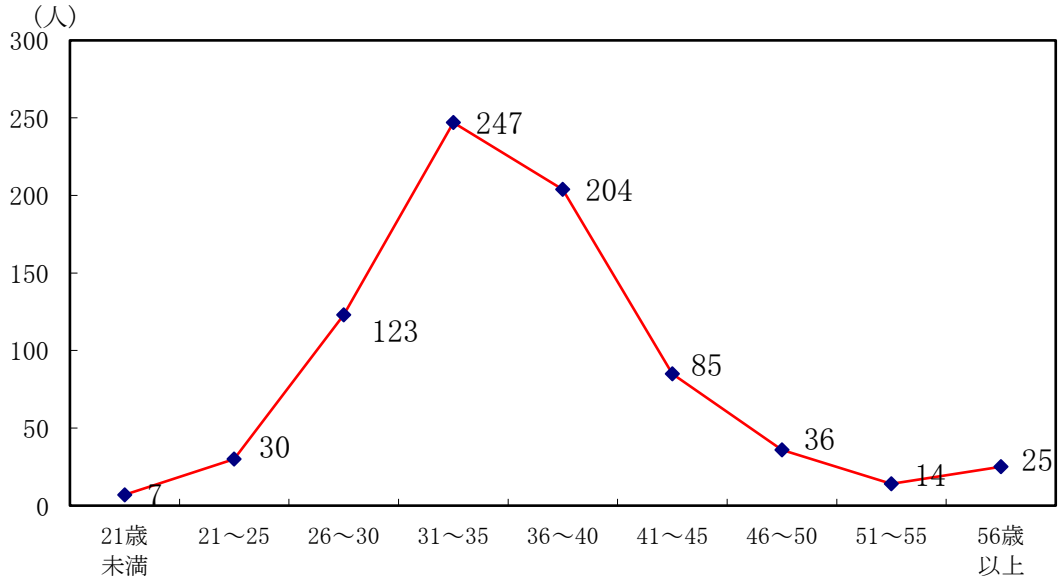
区分	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合計	定員
阿賀野市	1	2	13	25	76	77	577	771	810

(4) 年齢別消防団員数

平成29年4月1日現在(単位 人)

区分	21歳未満	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56歳以上
阿賀野市	7	30	123	247	204	85	36	14	25

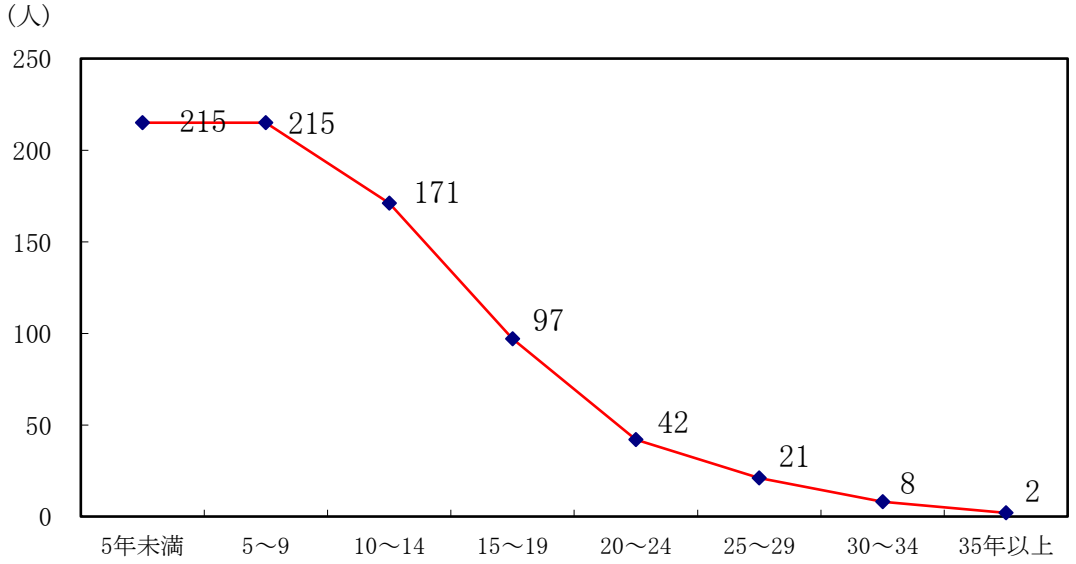
平均年齢 (36.0歳)



(5) 在職年数別消防団員数

(単位 人)

区分	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35年以上
阿賀野市	215	215	171	97	42	21	8	2



26. 消防団機械器具

(単位 台)

区 分	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載自動車
阿賀野市	1	0	76

※平成27年2月1日　消防庁所有の救助資機材搭載型消防ポンプ自動車に入れ替える。

○　気象については、阿賀野市消防署及びかがやき分署で記録したものである。
　安田地区の気象については、阿賀野川沿いに吹き降ろす南東の風は、「安田ダシ」と言われる名物的な風で、特異な気象状況である。

○ 天候の日数比較は、阿賀野市消防署で朝 9 時現在の観測を集計したものである。
晴れの日数は、126 日で前年比較 15 日減少した。
曇りの日数は、174 日で前年比較 16 日増加した。
雨の日数は、51 日で前年比較増減なし。
雪の日数は、14 日で前年比較 2 日減少した。

○　降雨量は、※1,374 ㎜で前年比較 522 ㎜増加した。
　※1、2、3、12 月冬期間のため観測休止。
日最高降雨量は、7 月 24 日の 125.5 ㎜であった。

○　通算降雪量は、606 ㎝で前年比較 183.1 ㎝増加した。
降雪日数は、40 日で前年比較 15 日増加した。
最多積雪は、2 月 7 日の 75cmであった。

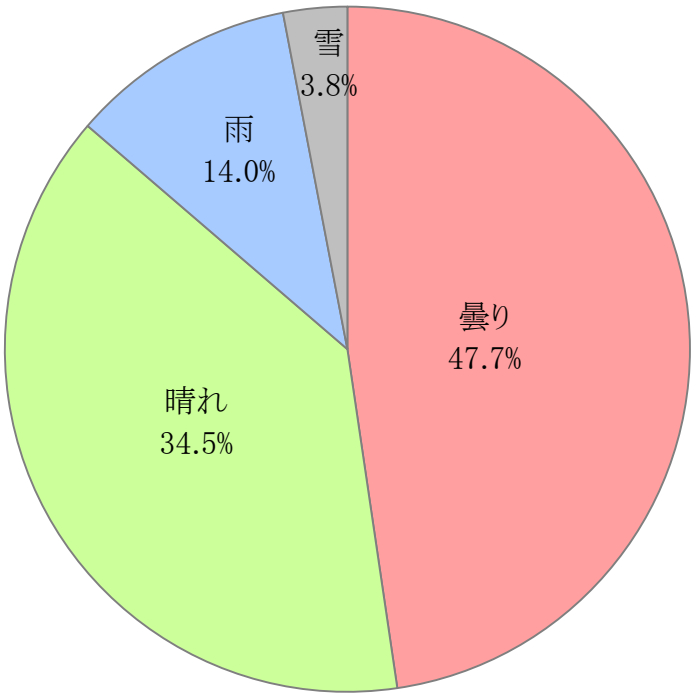
27. 平成29年気象状況

(1) 月別天候(9時現在) (3年間)

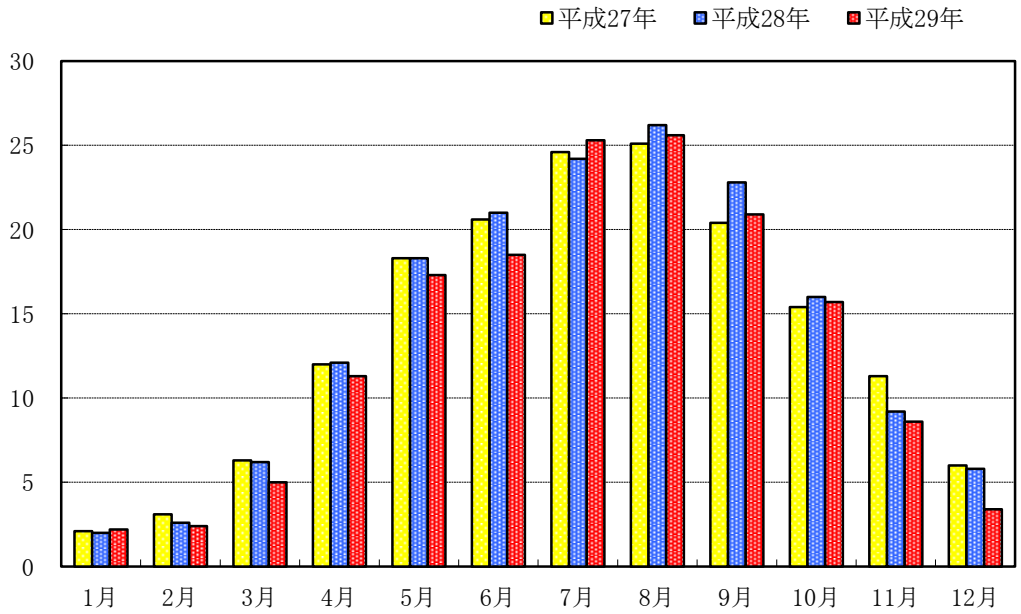
(単位:日)

天候	晴れ			曇り			雨			雪		
年 / 月	27	28	29	27	28	29	27	28	29	27	28	29
1	3	2	4	24	12	17	2	7	2	2	10	8
2	4	8	5	14	15	21	3	2	0	7	4	2
3	13	16	8	15	11	18	2	3	4	1	1	1
4	15	16	16	12	8	12	3	6	2	0	0	0
5	21	14	20	8	12	10	2	5	1	0	0	0
6	12	16	11	15	11	15	3	3	4	0	0	0
7	12	9	14	15	18	9	4	4	8	0	0	0
8	14	20	9	16	11	18	1	0	4	0	0	0
9	13	9	17	12	19	10	5	2	3	0	0	0
10	16	15	7	13	13	17	2	3	7	0	0	0
11	11	11	12	12	13	8	7	6	10	0	0	0
12	7	5	3	18	15	19	5	10	6	1	1	3
合計	141	141	126	174	158	174	39	51	51	11	16	14

(2) 平成29年の天候割合(9時現在)

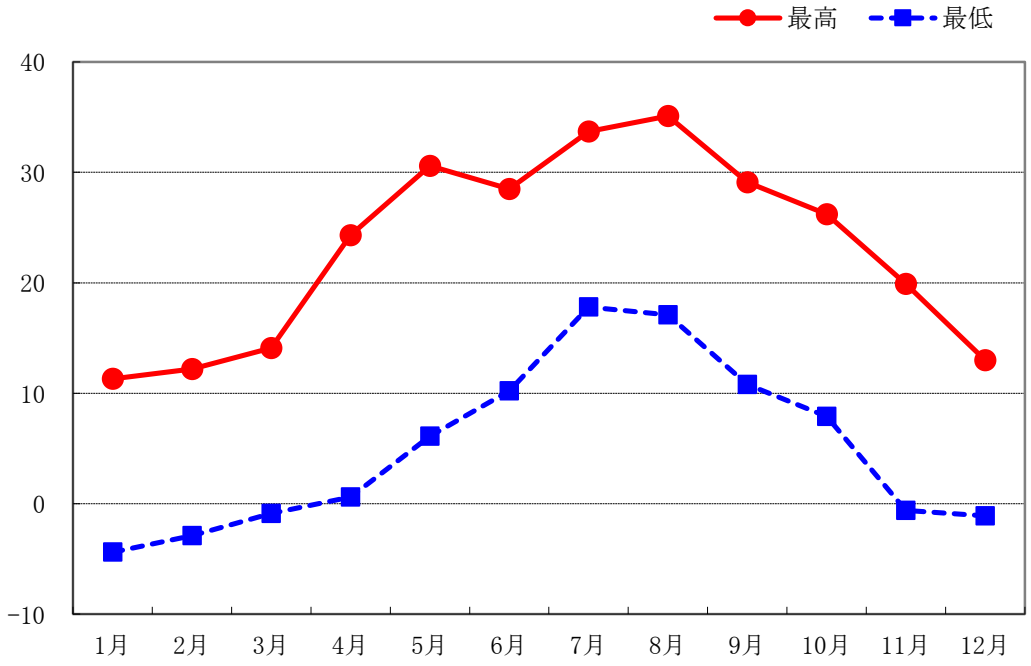


(3) 月別平均気温(3年間)



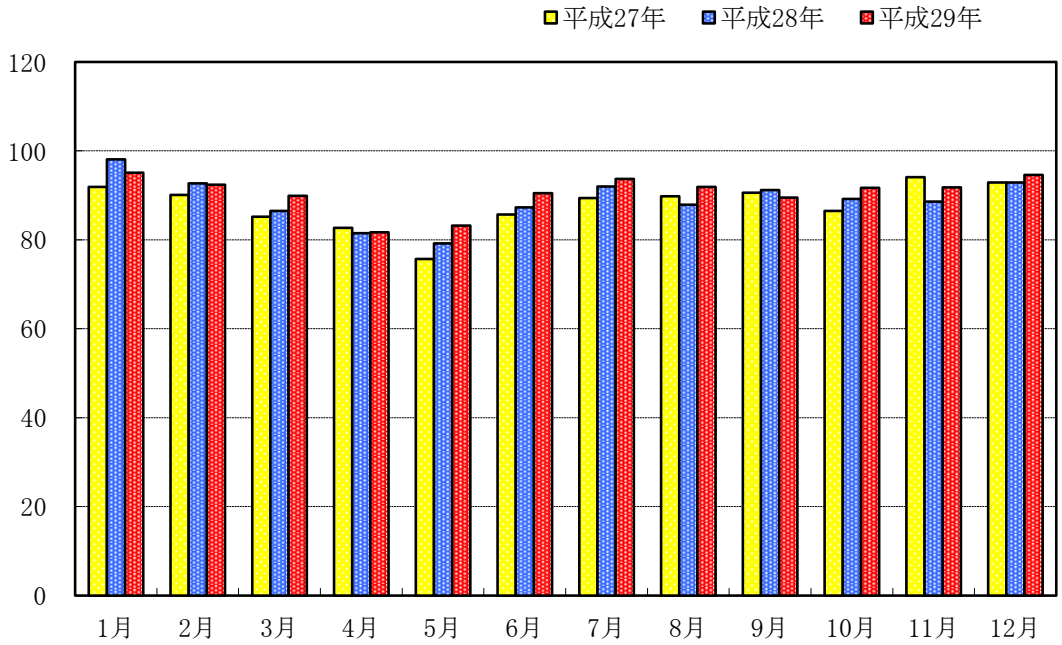
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	2.1	3.1	6.3	12.0	18.3	20.6	24.6	25.1	20.4	15.4	11.3	6.0
平成28年	2.0	2.6	6.2	12.1	18.3	21.0	24.2	26.2	22.8	16.0	9.2	5.8
平成29年	2.2	2.4	5.0	11.3	17.3	18.5	25.3	25.6	20.9	15.7	8.6	3.4

(4) 平成29年月別最高・最低気温



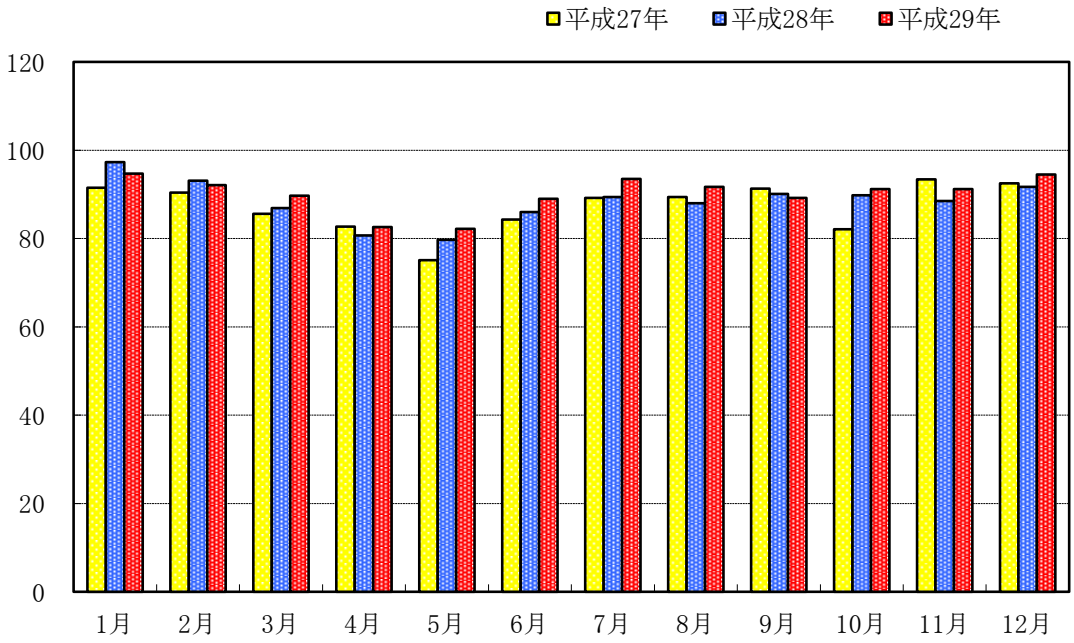
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	11.3	12.2	14.1	24.3	30.6	28.5	33.7	35.1	29.1	26.2	19.9	13.0
最低	-4.4	-2.9	-0.9	0.6	6.1	10.2	17.8	17.1	10.8	7.9	-0.6	-1.1

(5) 月別平均相対湿度(3年間)



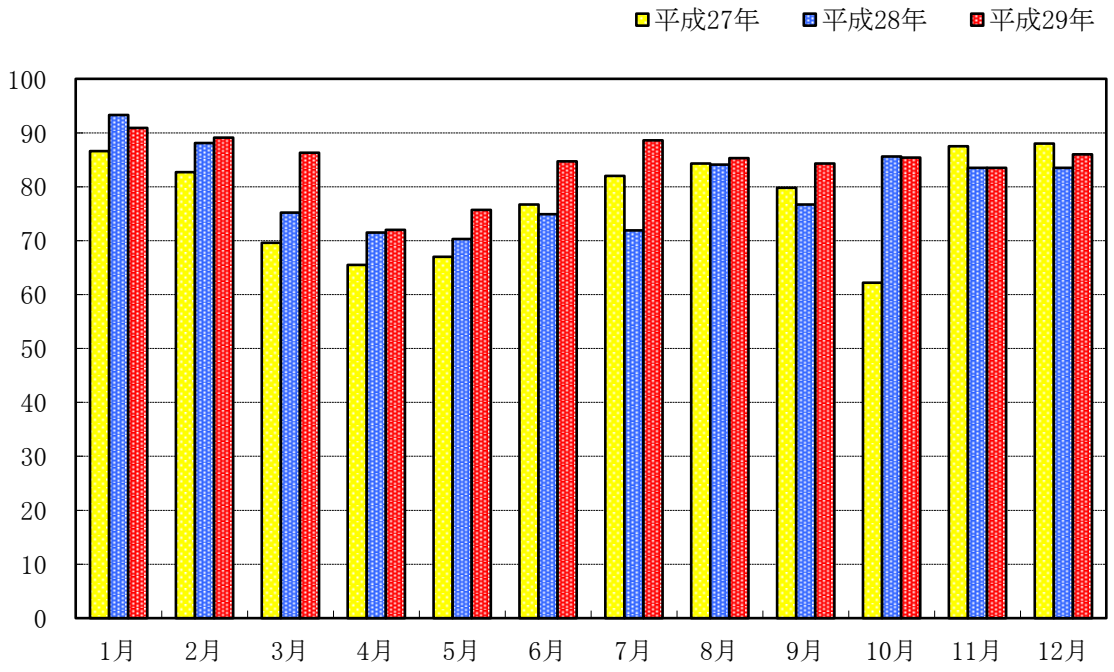
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	91.9	90.1	85.2	82.7	75.7	85.7	89.4	89.8	90.6	86.5	94.1	92.9
平成28年	98.1	92.7	86.5	81.5	79.2	87.3	92.0	87.9	91.2	89.2	88.6	92.9
平成29年	95.1	92.4	89.9	81.7	83.2	90.5	93.7	91.9	89.5	91.7	91.8	94.6

(6) 月別平均実効湿度(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	91.5	90.4	85.6	82.7	75.1	84.3	89.2	89.4	91.3	82.1	93.4	92.5
平成28年	97.3	93.1	86.9	80.7	79.7	86.0	89.4	88.0	90.1	89.8	88.5	91.7
平成29年	94.7	92.1	89.7	82.6	82.2	89.0	93.5	91.7	89.2	91.2	91.2	94.5

(7) 月別最低実効湿度(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	86.6	82.7	69.6	65.5	67.0	76.7	82.0	84.3	79.8	62.2	87.5	88.0
平成28年	93.3	88.1	75.2	71.5	70.3	74.9	71.9	84.1	76.7	85.6	83.5	83.5
平成29年	90.9	89.1	86.3	72.0	75.7	84.7	88.6	85.3	84.3	85.4	83.5	86.0

(8) 月別平均風向

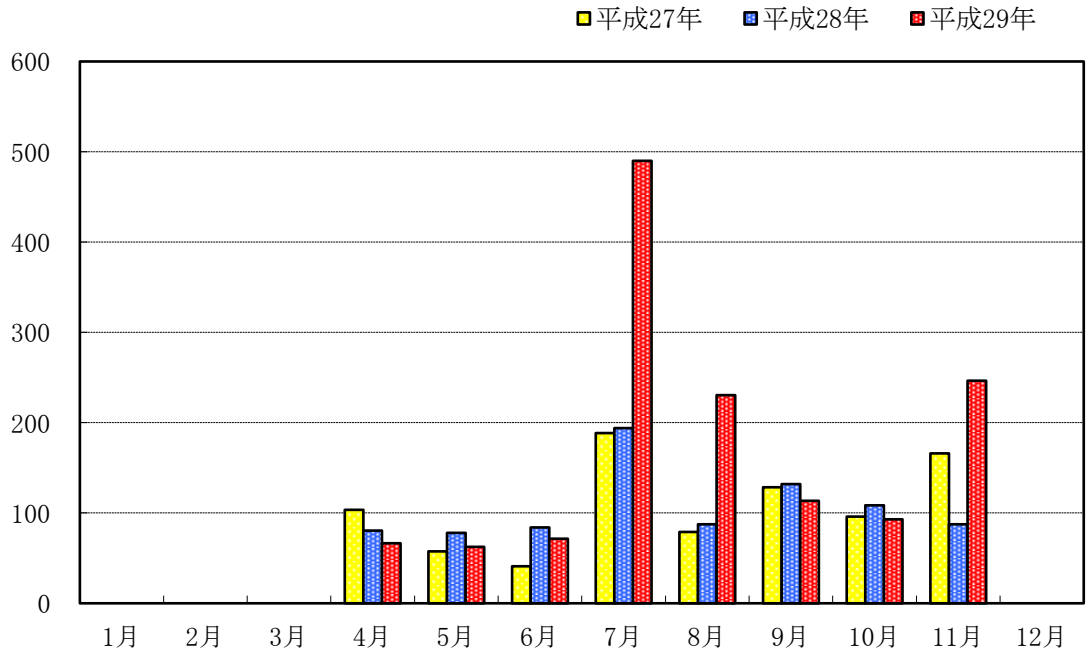
風向 / 月	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
1月	2		1					1	4	13				5	1	4	
2月	3		1						2	10		1	1	8	1	1	
3月	2	3						1	2	15			1	3		4	
4月	5	1	1					3	3	10	1	3	2			1	
5月	7	3	2					3	3	7	1		4	1			
6月	9	6	1					1	2	4	1	2	3	1			
7月	7	4	4						2	7	2		4			1	
8月	4	5	3	2			1	3	2	9			2				
9月	5	2	1					4	3	13			1			1	
10月	5	4	1					4	4	9			1	1		2	
11月	1	2	1		1				9	12				1	2	1	
12月		1	2						5	11	1		1	5	4	1	
年計	50	31	18	2	1	0	1	20	41	120	6	6	20	25	8	16	0

(9) 月別風速

単位 m/s

月	平均風速	最大瞬間風速	月	平均風速	最大瞬間風速
1	4.1m/s	27.8m/s (1月27日)	7	2.3m/s	23.9m/s (7月3日)
2	4.9m/s	24.9m/s (2月20日)	8	2.4m/s	18.4m/s (8月25日)
3	3.4m/s	20.7m/s (3月22日)	9	2.9m/s	28.4m/s (9月17日)
4	3.7m/s	32.0m/s (4月17日)	10	2.9m/s	27.1m/s (10月30日)
5	3.0m/s	25.1m/s (5月8日)	11	3.2m/s	23.5m/s (11月11日)
6	2.9m/s	24.2m/s (6月21日)	12	4.5m/s	26.0m/s (12月25日)

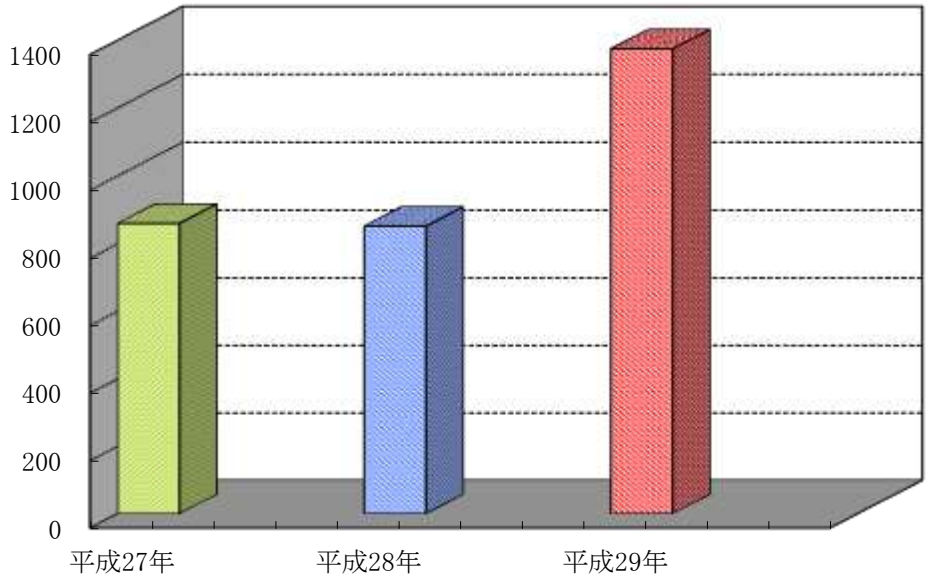
(10) 月別降雨量(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年	※	※	※	103.5	57.5	41.0	188.5	79.0	128.5	96.0	166.0	※
平成28年	※	※	※	80.5	78.0	84.0	194.0	87.5	132.0	108.5	87.5	※
平成29年	※	※	※	66.5	62.5	71.5	490.0	230.5	113.5	93.0	246.5	※

※冬期間(12・1・2・3月)観測休止

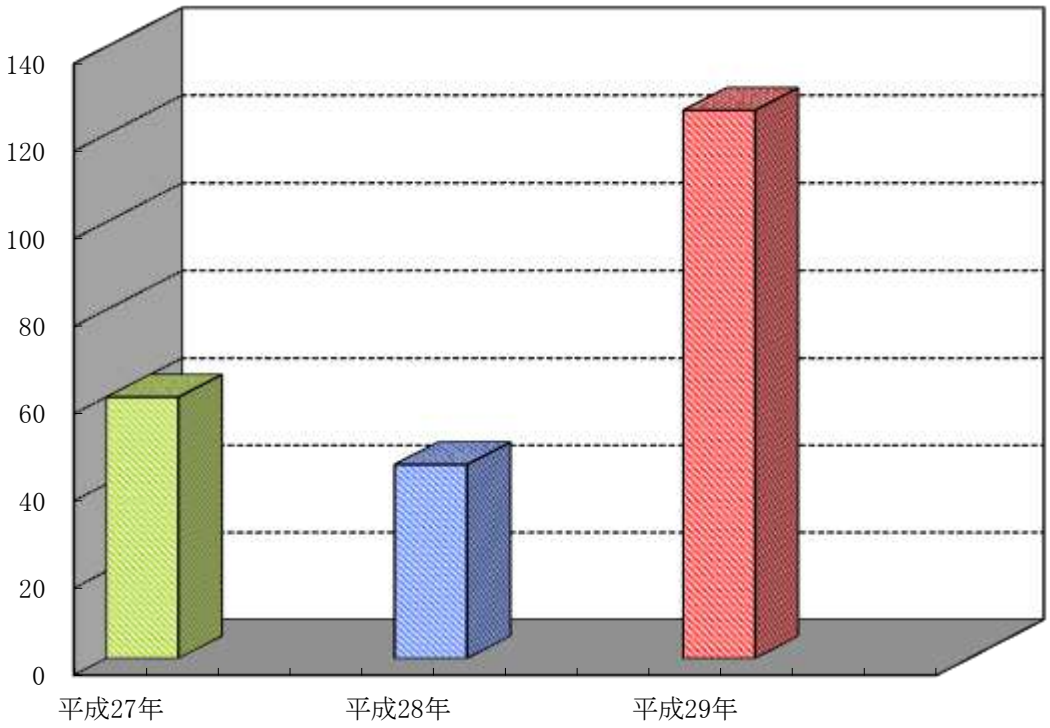
(11) 年別総降雨量(3年間)



	平成27年	平成28年	平成29年
年間降雨量	※ 860.0	※ 852.0	※ 1,374.0

※冬期間(12・1・2・3月)観測休止

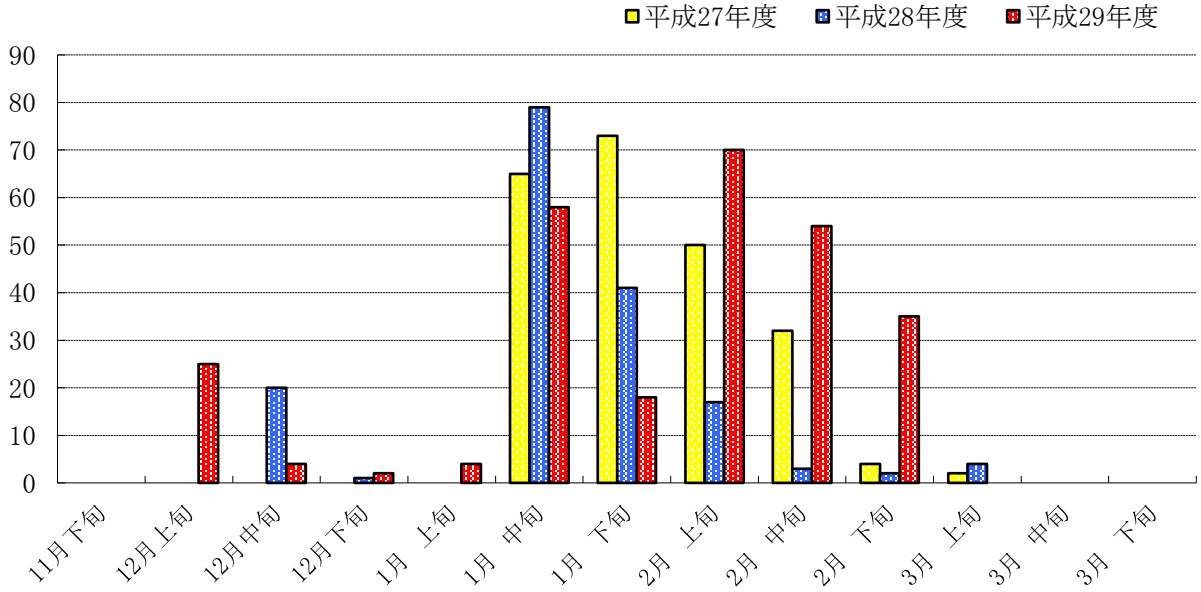
(12) 年別1日最高降雨量(3年間)



	平成27年	平成28年	平成29年
1日最高	※ 60	※ 44.5	※ 125.5
	7月20日	7月3日	7月24日

※冬期間(12・1・2・3月)観測休止　(mm)

(13)最多積雪(3年間)



	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬	1月上旬	1月中旬	1月下旬	2月上旬	2月中旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬	3月下旬
平成27年度	0	0	0	0	0	65	73	50	32	4	2	0	0
平成28年度	0	0	20	1	0	79	41	17	3	2	4	0	0
平成29年度	0	25	4	2	4	58	18	70	54	35	0	0	0

	初 雪	通算降雪量	1日最多降雪量	最終融雪日
平成27年度	1月12日	428.1cm	105.0cm(1月25日)	3月2日
平成28年度	12月 16日	422.9cm	79.0cm(1月14日)	3月9日
平成29年度	12月 6日	606.0cm	75.0cm(2月7日)	3月1日

28. 安田地区気象状況

(1) 年間気温・湿度

年間最高気温	31.0 ℃	(8月8日)
年間最低気温	−1.0 ℃	(2月2, 19, 21日)
年間最高相対湿度	99.0 %	(1月12～14, 17, 21, 26, 30日・3月9, 10日・4月9日・11月20, 25日・12月2, 6, 8, 12～14, 21, 26日)
年間最低相対湿度	39.0 %	(4月6日)
年間最高実効湿度	98.2 %	(12月14日)
年間最低実効湿度	22.5 %	(9月4日)

(2) 火災警報発令件数及び延べ日数　(発令無し)

(3) 風向(9時から翌日9時までの24時間中の主たる風向)

風向 月	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	最多風向
1	1	1	1	0	0	0	0	7	6	9	1	0	1	0	1	3	南南西
2	0	2	0	1	0	0	0	4	9	3	1	0	0	4	1	3	南
3	2	2	1	0	0	0	0	5	8	9	0	0	3	0	0	1	南南西
4	1	5	0	0	0	1	0	10	1	3	1	3	2	2	0	1	南南東
5	1	11	0	1	0	0	1	6	3	3	1	0	3	1	0	0	北北東
6	0	13	0	0	0	0	0	4	4	2	0	2	4	1	0	0	北北東
7	1	10	0	1	1	0	0	3	4	7	1	1	2	0	0	0	北北東
8	0	9	1	1	0	3	0	8	3	4	1	1	0	0	0	0	北北東
9	3	7	0	0	0	1	4	3	6	0	4	0	2	0	0	0	北北東
10	1	6	1	1	1	2	2	9	0	3	0	0	1	2	0	2	南南東
11	1	4	0	0	0	1	1	7	7	6	0	0	1	0	1	1	南南東・南
12	0	0	0	0	0	0	0	7	5	10	0	0	0	1	4	4	南南西
年計	11	70	4	5	2	8	8	73	56	59	10	7	19	11	7	15	北北東

(4) 風速　　(単位:m/s)

月	瞬間最大風速最高		摘　要
1	24.5	8日	
2	22.0	22日	
3	16.5	13日	
4	22.5	17日	
5	27.5	13日	
6	34.5	21日	
7	19.0	26日	
8	26.5	7日	
9	39.5	17日	
10	28.0	6日	
11	21.0	10日	
12	22.5	24日	

年間瞬間最大風速最　39.5 m/s　(9月17日)

(5) 降雨量　　(単位:mm)

月	降　雨　量			降雨日数	記録日数	摘要
	1ヶ月合計	1日最高	1日平均			
1						冬季間休止
2						冬季間休止
3						冬季間休止
4	63.0	20.0	2.1	13 日	30 日	
5	73.0	31.0	2.4	11 日	31 日	
6	74.0	28.0	2.5	14 日	30 日	
7	527.5	117.5	17.0	17 日	31 日	
8	263.0	70.0	8.5	15 日	31 日	
9	153.5	60.0	5.7	14 日	27 日	
10	122.0	54.0	3.9	17 日	31 日	
11	248.0	41.5	8.3	17 日	30 日	
12	246.5	37.5	8.2	25 日	30 日	

年間降雨量	1,770.5 mm	冬期間(1・2・3月)観測休止
年間1日平均	51.3 mm	冬期間(1・2・3月)観測休止
年間1日最高	117.5 mm	(7月2日)
年間降雨日数	143 日	冬期間(1・2・3月)観測休止
年間記録日数	271 日	冬期間(1・2・3月)観測休止

(6) 最高・最低気温

（単位:℃）

月	最　高	日	月	最　低	日
1	6.5	8 日	1	-0.3	15 日
2	7.2	16 日	2	-1.0	2,19,21 日
3	10.0	6 日	3	0.5	8,9,10 日
4	20.0	16 日	4	6.0	1 日
5	27.0	31 日	5	13.5	2 日
6	23.0	22 日	6	14.0	3,4 日
7	30.5	22 日	7	20.0	5 日
8	31.0	8 日	8	19.0	31 日
9	25.0	11,19,27 日	9	18.0	28,29 日
10	22.5	2 日	10	10.0	30,31 日
11	17.0	3 日	11	1.0	20 日
12	9.0	3,4 日	12	0.0	6,12,13,27 日

年間最高気温　31.0 ℃　(8月8日)

年間最低気温　-1.0 ℃　(2月2,19,21日)

(7) 相対・実効湿度

（単位:%）

（計測は9時現在）

	相　対　湿　度		実　効　湿　度		備　　考
月	最　高	最　低	最　高	最　低	
1	99.0	53.0	98.0	81.3	
2	98.0	62.5	94.8	77.8	
3	99.0	62.0	90.8	73.3	
4	99.0	39.0	84.8	57.6	
5	98.0	40.0	84.5	59.8	
6	98.0	64.0	92.6	75.6	
7	98.5	70.0	96.6	78.6	
8	98.0	68.0	93.2	77.0	
9	98.0	70.0	84.7	22.5	
10	98.0	62.0	93.0	77.4	
11	99.0	62.0	92.3	74.0	
12	99.0	67.0	98.2	82.9	

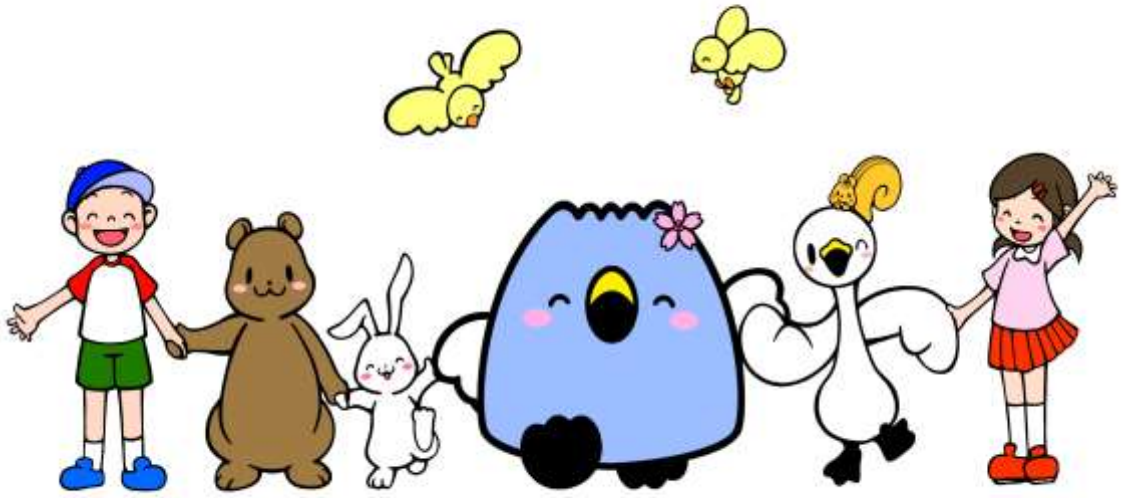
年間最高相対湿度　99.0 %　(1月12～14,17,21,26,30日・3月9,10日・4月9日・11月20,25日・12月2,6,8,12～14,21,26日)

年間最低相対湿度　39.0 %　(4月 6日)

年間最高実効湿度　98.2 %　(12月14日)

年間最低実効湿度　22.5 %　(9月 4日)

幼少年女性防火クラブ



【幼年消防クラブ】

○　幼年消防クラブの結成率は 100％で、管内すべての保育園、幼稚園、こども園がクラブ員であり、避難訓練や防火映画の上映などで防火意識の向上に努めています。

【女性防火クラブ】

○　女性防火クラブ数は 1 クラブで、女性の立場から家庭防火教室、広報活動、研修会などを実施し、天ぷら鍋火災の消火訓練や救急講習会で応急手当の技術習得に努め、成果を上げました。

1. 幼年消防クラブ結成状況

水原地区　　平成29年4月1日現在

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	おとぎのくにこども園	阿賀野市金田町9番81号	S60.5.20	122
2	分田こども園	阿賀野市上江端3751番地	〃	55
3	よろこび保育園	阿賀野市北本町11番38号	〃	44
4	たちばな保育園	阿賀野市中央町1丁目3番1号	〃	110
5	あやめ保育園	阿賀野市野地城91番地	〃	59
6	みどり保育園	阿賀野市緑町24番30号	〃	110
7	安野こども園	阿賀野市南安野町7番66号	〃	96
8	日章幼稚園	阿賀野市中央町2丁目2番40号	〃	35
9	ひまわり幼稚園	阿賀野市学校町6番13号	〃	69
	計			700

安田地区

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	安田幼稚園	阿賀野市保田3891番地	S62.5.1	24
2	ほたるこども園	阿賀野市保田3882番地	H4.4.1	99
3	風の子こども園	阿賀野市保田715番地1	〃	131
	計			254

笹神地区

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	みのり保育園	阿賀野市上高関107番地3	S60.5.20	63
2	すみれ保育園	阿賀野市山崎267番地1	〃	45
3	出湯保育園	阿賀野市出湯280番地6	〃	32
4	双葉保育園	阿賀野市金屋559番地1	〃	44
	計			184

京ヶ瀬地区

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	京ヶ瀬幼稚園	阿賀野市曽郷129番地	S61.5.20	42
2	京ヶ瀬こども園	阿賀野市緑岡3番地20	〃	168
	計			210

幼年消防クラブ員合計　1,348 名

2. 女性防火クラブ結成状況

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	分田女性防火クラブ	阿賀野市分田	H2.1.1	12
2				
3				
4				

女性防火クラブ員合計　12 名